

「横浜市中期計画 2026～2029（素案）」の公表と パブリックコメントの実施について【事業説明】

1 趣旨

横浜市では、2026（令和 8）年度から 2029（令和 11）年度までを計画期間とする新たな中期計画の策定を進めています。

2025（令和 7）年 9 月に「新たな中期計画の基本的方向」を公表し、9 月の市連会・区連会で市民意見募集の周知についてご協力をお願いさせていただき、大変多くのご意見をいただくことができました。改めてお礼申し上げます。

これらのご意見等を踏まえ、「横浜市中期計画 2026～2029（素案）」を策定し、12 月 3 日（水）に公表しました。

この「素案」に対するパブリックコメントを 1 月 5 日（月）から 2 月 27 日（金）まで行います。地域の皆様から多くのご意見をいただきたく、各区連会 1 月定例会で各自治会への周知をお願いしたいと考えております。

パブリックコメントの実施にあたっては、広報よこはま 1 月号への記事掲載や、各区役所 広報相談係などで「素案」の概要版リーフレットの配布などを行っておりますので、あわせてお知らせします。

今後、多くの市民の皆様のご意見を踏まえて、2026（令和 8）年 5 月頃に「原案」を策定します。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で周知をお願いします。

3 内容

単位会長あてに概要版リーフレットを送付します。詳細は別添をご参照ください。

【概要版リーフレットの掲載内容】

- ・「横浜市中期計画 2026～2029（素案）」の概要

- ・パブリックコメントの実施

実施期間：令和 8 年 1 月 5 日（月）から令和 8 年 2 月 27 日（金）まで

提出方法：以下の方法でご意見をお寄せください。

- ・横浜市電子申請・届出システム（右の二次元コードより）
- ・電子メール ・郵送 ・FAX



4 参考

新たな中期計画の策定スケジュール（予定）

2025（令和7）年12月3日（水） 素案の策定

広報よこはま
1月号



素案に対するパブリックコメントの実施等
（2026（令和8）年1月5日（月）～2月27日（金））

2026（令和8）年5月頃 原案の策定

策定した原案は議案として提出する予定です。

政策経営局経営戦略課
担当 細谷、二階堂、井上
電話 045-671-3477 /FAX 045-663-4613
メール ss-keieisenryaku@city.yokohama.lg.jp

～未来の横浜を市民の皆様と一緒に作る～

はじめに

横浜市は、2026(令和8)年度から2029(令和11)年度までを計画期間とする新たな中期計画の策定を進めています。このたび、「横浜市中期計画2026～2029(素案)」をとりまとめました。市民目線の市政を基本に、現状の課題解決に取り組みながら、魅力ある横浜の未来を創造していきます。

計画の構成

共にめざす都市像「明日をひらく都市」の実現に向けた戦略



戦略

市民生活の安心・安全 × 横浜の持続的な成長・発展

あらゆる世代・多様な市民の皆様が安心・安全を基本に、自分らしくいきいきと暮らすことのできる「住みたい・住み続けたいまち」を目指します

世界をリードする都市として持続的に成長・発展することで未来に希望を抱くことができる「選ばれるまち」を目指します

総合的な取組

14の政策群と33の施策群

(政策群は、政策分野に関連する取組をまとめた施策群で構成)

横断的な取組

テーマに関連する施策群による横断プロジェクト

横浜の成長・発展に向けた「明日をひらく都市プロジェクト」

政策・財政・行政が連動し、持続可能な市政運営を更に推進し、施策の推進と財政の健全性の維持を両立

市役所の改革






「行政運営の基本方針」






～ リ・デザイン(市民サービス革新、地域支援の進化、行政事務・組織改革) ～


市政運営の土台

「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」

～ 「横浜市将来にわたる責任ある財政運営の推進に関する条例」に基づく基本方針とアクション ～

政策群	目指す姿	施策群
1 毎日の 安心・安全 	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯対策の強化が進み、地域防犯力が向上し、犯罪が発生しにくい、誰もが安心して暮らせる環境が整っています。 ●交通安全対策が進み、子どもから大人まで安心して出かけられる環境が整っています。 ●計画的かつ効果的な老朽化対策・保全更新が進み、市民生活に欠かせないインフラ施設を誰もが安心して利用できる環境が整っています。 	施策群 1 防犯、歩行者の安心・安全 施策群 2 インフラ施設の安全確保
2 防災・減災 	<ul style="list-style-type: none"> ●地震防災戦略に基づき、自助・共助・公助の取組が一体的に進み、大規模地震に対して十分な備えができています。 ●風水害のリスクに対し、ハード・ソフト両面の対策が進み、市民の命と財産を守る十分な備えができています。 	施策群 3 地震防災対策 施策群 4 風水害対策
3 医療・保健 	<ul style="list-style-type: none"> ●限られた資源を最大限活用し、最適な医療提供体制を構築することで、子どもから高齢者まで誰もが適切な医療を受けられ、本人・家族が安心して生活することができています。 ●各種がん検診の受診者数の増加により、早期発見・早期治療を進め、がんと診断された方が、適切な医療を受け、安心して生活できる環境が実現しています。 ●増加が見込まれる救急需要に対し、安定的な救急体制が確保できています。 ●市民の生活習慣の改善や生活習慣病の発症予防、重症化予防、健康に望ましい行動を取りやすくする環境づくりを通じて、市民の皆様が健やかな生活を送ることができています。 	施策群 5 医療・救急・保健
4 子ども・子育て 	<ul style="list-style-type: none"> ●全ての子どもを社会全体で支えることで、未来を創る子ども一人ひとりが自分の良さや可能性を発揮し、豊かで幸せな生き方を切り拓く力、共に温かい社会を創り出していく力が育まれています。 ●子どもたちが、様々な遊びや学び、体験機会に接することで、自己肯定感を高められる環境が整っています。 ●誰もが安心して出産・子育てができ、気持ちに余裕をもって子どもに向き合うことができています。 	施策群 6 子育て支援 施策群 7 保育・幼児教育 施策群 8 子どもの体験機会 づくりと居場所の充実 施策群 9 困難な状況にある 子ども・家庭への支援
5 教育 	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校全員給食を通じた食育の推進や学校施設の老朽化対策・快適性の向上など、誰もが安心して学べる環境を整えることで、より良い教育環境につながっています。 ●グローバルに活躍する児童生徒の育成に向けた、プログラムの充実・支援の仕組みが整っており、子どもたちの能力や意欲向上につながっています。 ●ICT活用指導力をはじめ、教職員自らが学び続ける姿勢で臨み、指導力が向上されることで、児童生徒の成長が図られています。 	施策群 10 教育環境の整備 (ソフト・ハード) 施策群 11 安心して生活できる 学びの環境づくり 施策群 12 学力の向上 施策群 13 教職員

政策群	目指す姿	施策群
6 高齢・長寿 	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の活躍・社会参画の機会が充実し、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、つながり・支えあう地域づくりを進めます。 ●見守りの取組や地域での支え合いを推進し、住み慣れた地域で自らの意思で自分らしく暮らすことができます。 ●新たな担い手の参入促進、定着支援等を通じた人材確保や、DXを通じた業務改善などの働き方改革により、介護需要に対するサービスを持続的に提供することができます。 ●必要な施設・住まいの整備や、相談体制の充実を通じて、日常生活に支援や手助けが必要になっても、一人ひとりの状況に応じたサービスの選択が可能となっています。 	施策群14 高齢者支援
7 障害児・者 	<ul style="list-style-type: none"> ●障害児・者やその家族への支援を行うと共に、ソフト・ハードの両面からインクルーシブなまちづくりを進め、誰もが安心して暮らせる環境が整っています。 ●DX技術等の活用による体験機会・就労機会の拡充を通じて、自分らしさを発揮し、いきいきと生活ができています。 	施策群15 障害児・者支援
8 暮らし・コミュニティ 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域で、共に支え合い、誰もが自分らしく活躍できている暮らしやすいまちが実現しています。 ●地域コミュニティが主体となって取り組む地域課題（防犯・防災や環境保全、子育て支援など）の解決に向けた活動が継続すると共に、自治会町内会など地域で活動する団体や人々、企業、学校などの多様な主体と連携する「協働による地域づくり」がより一層推進されています。 ●快適な環境の中で、誰もが一人ひとりのライフスタイルに応じた豊かな暮らしを実感しながら、安心して住み続けることができます。 	施策群16 地域の生活環境 施策群17 学び・交流を支える地域の情報拠点 施策群18 多文化共生 施策群19 困難を抱えた人の支援
9 交通 	<ul style="list-style-type: none"> ●市域全体で地域公共交通が充実していると共に、快適に移動できる自転車・歩行者空間と、身近な移動手段が確保され、誰もがいきいきと安心して暮らせるまちを実現しています。 ●まちづくりと一体となった交通ネットワークの構築や渋滞対策が進むことで、移動の利便性が高まり、市民生活や企業活動が活性化しています。 	施策群20 市民の移動手段の確保
10 にぎわい・スポーツ・文化 	<ul style="list-style-type: none"> ●ウォーターフロントを生かしたアーバンリゾートの魅力向上により、国内外から観光客を呼び込み、消費の拡大により地域経済が活性化され、活力・魅力のあるまちとなっています。 ●年齢や性別、障害の有無、家庭環境等に関わらず、市内の各地域で隔たりなく、誰もが、スポーツや文化活動に参加できる機会や楽しめる環境が充実し、また、それらを通じて共に認め、支えあうコミュニティが実現することで、市民が生活の質の向上を実感できています。 	施策群21 観光・MICE 施策群22 スポーツ 施策群23 文化芸術

政策群	目指す姿	施策群
11 産業 	<ul style="list-style-type: none"> ● 戦略的な企業誘致により、市内への産業や機能の集積が進み、成長分野をはじめとして新たな雇用の創出や事業機会の拡大など、市内経済の持続的発展につながっています。 ● スタートアップの創出・成長・立地により、雇用者数の増加や市内企業との協業が進み、市内経済の活性化につながっています。 ● 中小・小規模事業者の経営基盤が強化されることで、事業継続や雇用維持が実現され、横浜経済の成長や活性化につながっています。 ● グローバルサプライチェーンを支える国際基幹航路を維持・拡大し、横浜港の国際競争力の強化を推進すると共に、企業・物流拠点の立地促進を図り地域の新たな活性化の拠点が形成されています。 	施策群24 経済成長 施策群25 地域産業
12 まちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都心部・臨海部では、世界に誇る水際線をはじめとする魅力が更に磨き上げられると共に、適正な土地利用誘導を通じて、都心臨海部や新横浜都心における業務・商業機能の集積や、京浜臨海部における産業機能の高度化が進み、より多くの人や企業を惹きつけるまちが形成されています。 ● 郊外部では、鉄道駅周辺や住宅地等において、これまで以上に土地のポテンシャルが引き出され、地域の特色や資源を生かした魅力的なまちづくりが進められています。また、上瀬谷地区においては、GREEN×EXPO 2027開催後のまちづくりが進められています。 	施策群26 都心部・臨海部のまちづくり 施策群27 郊外部のまちづくり
13 環境との共生 	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な脱炭素関連施策の展開により、市民・企業の環境意識の高まりを通じて脱炭素の取組が推進され、ハーフカーボンの達成が確実なものとなっています。 ● GREEN×EXPO 2027の取組を通じて、ネイチャーベースドソリューションやサーキュラーエコノミーの考え方が浸透し、市民や事業者の皆様の行動変容につながるなど、新たなグリーン社会の実現に向けた具体的な環境行動が広がっています。 ● 横浜らしいサーキュラーエコノミー施策が展開された結果、環境への影響を考慮して行動する市民が増えていると共に、市内産業の発展・育成につながっています。また、アジアを代表するグリーンシティとして、世界の環境政策、都市政策を先導しています。 	施策群28 カーボンニュートラル 施策群29 GREEN×EXPO 2027 施策群30 循環型社会に向けた取組
14 みどり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「公園のまちヨコハマ」の推進や動物園のリニューアルによる魅力向上を進めることで、こどもを中心に多様な体験の場が創出されると共に、都市ブランド力の向上につながっています。 ● 身近に農を実感できる機会が増えることにより、市民の皆様が豊かで潤いのある暮らしが実現しています。また、循環肥料の市内農地での活用など、都市と農地が近接している横浜市の特徴を生かした取組が進められています。 ● 大気や水、土壌などの生活環境の保全に加え、樹林地や河川、海などの自然環境が保全されると共に、市街地でのみどりの創出が進み、市民の皆様が水辺やみどりを身近に感じられています。 	施策群31 公園・動物園 施策群32 都市農業 施策群33 みどりの保全と創出

「横浜市中期計画2026～2029(素案)」の
詳細はホームページをご覧ください

横浜市中期計画2026～2029 素案 🔍



横断的な取組

明日をひらく都市プロジェクト

横浜のポテンシャルや魅力をより高め、横浜の更なる持続的な成長・発展につながるテーマについて、「明日をひらく都市プロジェクト」として、3つのテーマで施策横断的に取り組みます。

「明日をひらく都市プロジェクト」は、計画期間である4年後の目指す姿はもちろんのこと、2040（令和22）年の横浜の姿も目標に掲げ、民間活力を積極的に誘引しつつ、国等との連携も強化しながら、戦略的に取り組んでいきます。

1 循環型都市への移行

生産・消費・再資源化のあらゆるステージで
循環型都市を目指す「YOKOHAMA CIRCULAR LINK※」

2 観光・経済活性化

にぎわいが経済を育み、世界とつながる横浜へ

3 未来を創るまちづくり

日々の暮らしを豊かにし、都市の経済を成長させ、
活力あふれる横浜へ

※横浜の都市特性を生かした、「食・農」「建築・住宅」「資源調達」「企業活動」「消費・行動変容」「DX」の6分野における
重点的な取組を相互にリンクさせ、循環型都市に向けた大きな流れを作り出すもの

新たな中期計画の策定スケジュール

令和7年9月

「新たな中期計画の基本的方向」公表

市民意見募集の実施等

令和7年12月

「横浜市中期計画2026～2029（素案）」の策定

パブリックコメントの
実施等

令和8年5月頃

原案の策定 ※原案を基に議案を提出する予定です。

該当する項目に☒を入れ、ご意見をご記入ください。（複数選択可）

※該当する項目がわからない場合等は、その他に☒してください。

巻頭

☐ 都市像「明日をひらく都市」

I章 「横浜市中期計画2026～2029」の策定

☐ 計画の考え方 ☐ 計画の推進にあたって

II章 基本姿勢

☐ データ経営の徹底 ☐ SDGs実現の視点

III章 計画の全体像

☐ 戦略 ☐ 計画体系 ☐ データ駆動型経営への本格移行

IV章 政策・施策

☐ 14の政策群と33の施策群 ☐ 明日をひらく都市プロジェクト

V章 行財政運営

☐ 行政運営 ☐ 財政運営

VI章～VIII章

☐ 大都市制度 ☐ 計画の前提 ☐ 計画の策定経過

（☐ その他：_____）

ご意見

切り取り線



「横浜市中期計画2026～2029(素案)」 のパブリックコメントについて

募集期間

令和8年1月5日(月)から2月27日(金)まで

ご意見の提出方法

インターネット 入力フォーム

右の二次元コード(横浜市電子申請・届出システム)へ
アクセスし、ご入力ください。

※インターネット入力フォームは、1月5日(月)からご利用できます。



はがき

本リーフレットのはがきを切り取ってご利用ください。
(切手不要、当日消印有効)

電子メール

ss-chuki2026@city.yokohama.lg.jp

FAX

045-663-4613

※電子メール、FAXでご意見をお寄せいただく場合は、様式の定めはありませんが、「横浜市中期計画2026～2029(素案)」に
ついてのご意見である旨を明記の上、本リーフレット内のはがきの設問項目の内容に沿ってご提出ください。

郵便はがき

231-8790

005

料金受取人払郵便

横浜港局
承認

2480

差出有効期限
令和8年
2月27日まで
(切手不要)

見本

(受取人)

横浜市中区本町6-50-10

横浜市政策経営局 経営戦略課 行



●該当する項目にチェック、記入をお願いします。

■住所

☐ 横浜市 _____ 区

☐ 横浜市内

■年代

☐ ～10歳代(未成年)

☐ 30歳代

☐ 60歳代

☐ ～10歳代(成人)

☐ 40歳代

☐ 70歳代

☐ 20歳代

☐ 50歳代

☐ 80歳代～

- ・ご意見の内容は、本市の考え方とともに、個人情報を除き、後日ウェブページで公表します。なお、第三者の利益を害する恐れのあるものなど内容により公表しない場合があります。
- ・ご意見を正確に把握するため、お電話やご来庁でのご意見の受付や個別の回答はいたしません。
- ・ご意見の提出に伴い取得したメールアドレス、FAX番号等の個人情報は「個人情報の保護に関する法律」等に基づき適正に管理し、本案に対する意見募集に関する業務にのみ使用します。



横浜市

横浜市政策経営局経営戦略課

TEL:045-671-2010

FAX:045-663-4613

令和7年12月作成

GREEN×EXPO 2027 機運醸成の取組について【情報提供】

1 事業の趣旨

GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の入場チケットの券種及び価格が決まりましたのでお知らせいたします。

2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 チケット概要

- ・前売チケット 1日券 大人 4,900 円、小人 1,400 円
- ・会期中販売チケット 1日券 大人 5,500 円、小人 1,500 円

前売チケットは、2026 年 3 月の発売を目指しています。詳細は、2026 年春頃に公表される予定です。

また、2027 年の開催に向けて、GREEN×EXPO 2027 に関する様々な新しい情報について、協会公式 Web サイトや公式 SNS 等で順次発信されます。

※その他の券種と価格については、別添資料参照

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課
担当 中島、橋本
電話 045-671-4627 /FAX 045-212-1223
メール da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

GREEN×EXPO 2027 機運醸成の取組について【情報提供】

1 事業の趣旨

GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の入場チケットの券種及び価格が決まりましたのでお知らせいたします。

2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 チケット概要

- ・前売チケット 1日券 大人 4,900 円、小人 1,400 円
- ・会期中販売チケット 1日券 大人 5,500 円、小人 1,500 円

前売チケットは、2026 年 3 月の発売を目指しています。詳細は、2026 年春頃に公表される予定です。

また、2027 年の開催に向けて、GREEN×EXPO 2027 に関する様々な新しい情報について、協会公式 Web サイトや公式 SNS 等で順次発信されます。

※その他の券種と価格については、別添資料参照

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課
担当 中島、橋本
電話 045-671-4627 /FAX 045-212-1223
メール da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2025年12月5日

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会) 入場チケットの券種及び価格について



GREEN×EXPO 2027 会場イメージ

このたび政府の了承を受け、GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の入場チケットの券種及び価格が決まりましたのでお知らせいたします。

前売チケット	1日券	大人4,900円、小人1,400円
会期中販売チケット	1日券	大人5,500円、小人1,500円

前売チケットは、2026年3月の発売を目指しています。詳細は、2026年春頃に公表する予定です。
また、2027年の開催に向けて、GREEN×EXPO 2027に関する様々な新しい情報を協会公式Webサイトや公式SNS等で順次発信して参ります。

入場チケットの券種・価格

- ・会期中いつでも1回入場できる1日券
- ・夜から入場できる夜間券
- ・障がい者手帳をお持ちの方の特別割引券
- ・会期中に何度も入場できる通期パス
- ・夏期間に何度も入場できる夏パス
- ・一般や学校の団体に来場される方のための団体割引券

項 目	券 種	概 要	大 人 (満18歳以上)	中 人 (満12～17歳)	小 人 (満4～11歳)
前売チケット	1日券 (早割価格)	会期中いつでも1回入場可	4,900円	3,000円	1,400円
会期中販売 チケット	1日券 (通常価格)	会期中いつでも1回入場可	5,500円	3,300円	1,500円
	夜間券	会期中いつでも17時以降1回入場可	3,500円	1,900円	900円
前売・会期中 販売 チケット	特別割引券	障がい者手帳等をお持ちの方および同伴者1名が購入可能で、会期中いつでも1人1回入場可	2,800円	1,700円	800円
複数回 入場パス	通期パス	会期中いつでも何度も入場可	28,000円	16,000円	6,500円
	夏パス	夏の決まった期間(7/1～8/31)に何度も入場可	12,000円	7,000円	3,000円
団 体	一般団体割引券	15名以上の一般団体が会期中いつでも1回同時入場可	5,200円	3,100円	1,400円
				高校生	中学生 小学生・園児
	学校団体割引券	学校団体が会期中いつでも1回同時入場可		1,700円	900円

※価格は全て日本円・税込みです。

(紙チケットを購入する場合は、別途100円(税込み)をいただく予定です。)

※3歳以下の方は無料となります。

※前売チケットの販売は2027年3月18日までとなります。

チケット販売開始時期

・2026年3月（予定）

チケット販売方法

・2027年国際園芸博覧会公式チケット販売サイトを通じて販売します。また、旅行代理店や各種プレイガイド等のGREEN×EXPO協会が指定する販売事業者による販売も実施予定です。

本件に関するお問い合わせ先

GREEN×EXPO協会（公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会） 機運醸成部 機運醸成課
（担当：太田、中山）

Tel：045-307-2031

GREEN×EXPO 2027 開催概要

名 称	2027年国際園芸博覧会 (International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)
正 式 略 称	GREEN×EXPO 2027 (グリーンエクスポニーゼロニーナ)
開 催 場 所	神奈川県横浜市
開 催 期 間	2027年3月19日(金)～ 2027年9月26日(日)
テ ー マ	幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～
博覧会区域	約100ha(内、会場区域80ha)
ク ラ ス	A1(最上位) クラス(AIPH承認+BIE認定)
参 加 者 数	1500万人（有料来場者数：1,000万人以上）
公式サイト	https://expo2027yokohama.or.jp/



公式マスコットキャラクター
「トゥンクトゥンク」

GREEN×EXPO 2027 市出展施設ユニフォーム制作に向けた 衣類回収に関する広報チラシの掲示について【掲示依頼】

1 事業の趣旨

市民の皆様のさらなる脱炭素行動に繋げる「衣類分野の横浜型循環型社会の形成」を目指し、協働事業者とともに取組を進めています。

今回、市民の皆様から不要となった衣類を回収し、その衣類を原料として GREEN×EXPO 2027 の横浜市出展施設のスタッフユニフォームに再生する取組を開始しました。

つきましては、取組実施について、引き続き御理解・御協力いただくとともに、自治会町内会掲示板でのチラシ掲出による広報協力をお願い致します。

2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位自治会町内会あて掲示物を送付します。

自治会町内会の掲示板への掲出をお願いします。

3 衣類回収の概要

回収拠点にオリジナル回収ボックスを設置し、衣類を回収します。

ただし、一部民間施設では、施設独自で取り組んでいる既存の衣類回収ボックスを活用します。

- ・回収期間 3月31日（火）まで

- ・回収対象 洗濯してあり、乾いている衣類（Tシャツ・シャツ・ボトムなど）でポリエステル100%、綿100%素材のもの

※その他の素材（混紡素材）の衣類が回収された場合は、リユース・リサイクル等適切に活用予定です。

- ・回収拠点 各区区庁舎・市庁舎・市立図書館・民間施設等（詳細は別紙参照）

4 チラシについて

- ・添付のチラシ（A4サイズ）を各自治会町内会掲示板で掲出をお願い致します。

- ・お手数ですが、回収期限（3月31日）まで掲示をお願いします。

- ・チラシが劣化した場合等には、新しいチラシをお渡しすることも可能ですので、その際は、脱炭素・GREEN×EXPO推進局脱炭素ライフスタイル推進課（TEL045-671-2661）宛てに御相談ください。

衣類回収拠点一覧

<別紙>

No	拠点名	区名	所在地
1	各区庁舎	-	-
2	市庁舎	中区	本町6-50-10
3	市立図書館	-	-
4	無印良品 港南台バース	港南区	港南台3-1-3 B1F
5	無印良品 C o l e t t e ・ M a r e みなとみらい	中区	桜木町1-1-7 4 F
6	無印良品 N E W o M a n Y O K O H A M A	西区	南幸1-1-1 7 F
7	無印良品 フォルテ横浜川和	都筑区	川和町3030 2 F
8	無印良品 5 0 0 星天 q l a y	保土ヶ谷区	星川一丁目1-1 2 F
9	無印良品 イオン金沢八景	金沢区	泥亀1-27-1 1 F
10	無印良品 ゆめが丘ソラトス	泉区	ゆめが丘31
11	無印良品 青葉台東急スクエア	青葉区	青葉台2-1-1 South- 1 本館 3 F
12	するーぷ ランドマークタワー2階	西区	みなとみらい2-2-1
13	するーぷ クイーンズA棟 1F	西区	みなとみらい2-3-1
14	するーぷ MARK IS みなとみらい	西区	みなとみらい3丁目5-1
15	するーぷ chilink	西区	みなとみらい5丁目1-2 横浜シンフォステージ イーストタワー 3 F
16	するーぷ 京急ミュージアム	西区	高島1-2-8 京急グループ本社1F
17	するーぷ ゆめが丘ソラトス 1F	泉区	ゆめが丘31
18	するーぷ 相鉄ジョイナス横浜 3 F	西区	南幸1-5-1
19	するーぷ ジョイナステラス二俣川 3 F	旭区	二俣川2-50-14
20	横浜国立大学 キャンパス	保土ヶ谷区	常盤台79-5
21	AOKI 横浜港北総本店	都筑区	葛が谷6-56
22	AOKI 横浜すみれが丘店	都筑区	牛久保1-19-5
23	AOKI 横浜鶴見西口店	鶴見区	豊岡町16-2
24	AOKI 横浜片倉町店	神奈川区	片倉3-1-8
25	AOKI 横浜みなとみらい店	西区	みなとみらい4-5-1
26	AOKI 横浜弘明寺店	南区	六ツ川1-190-5
27	AOKI 横浜金沢文庫店	金沢区	釜利谷東2-5-5
28	AOKI 横浜大倉山店	港北区	大豆戸町80
29	AOKI 横浜綱島東店	港北区	綱島東2-6-61
30	AOKI 横浜港南台店	港南区	港南台6-12-2
31	AOKI 横浜日野店	港南区	日野中央1-17-12
32	AOKI 横浜鶴ヶ峰店	旭区	鶴ヶ峰本町2-44-2
33	AOKI 横浜三ツ境店	瀬谷区	二ツ橋町163
34	AOKI 横浜緑園都市店	泉区	緑園7-7-3
35	AOKI 横浜山手台店	泉区	領家3-1-1
36	AOKI サイズマックスいずみ中央店	泉区	和泉中央北4-30-1 プレミール中央 1F
37	AOKI 横浜青葉台店	青葉区	青葉台2-8-20
38	あいおいニッセイ同和損害保険（株） 横浜支店	中区	本町5丁目48 あいおいニッセイ同和損保 横浜ビル
39	日本生命保険相互会社 横浜北支社	西区	北幸2-8-4 横浜西口 K N ビル15階

GREEN×EXPO 2027

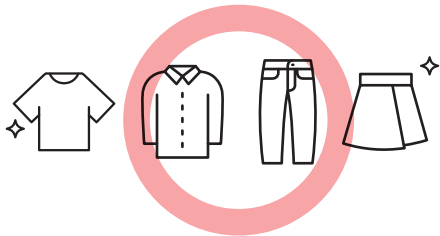
ユニフォームをみんなで作ろう!

不要となった衣類を回収しています!

皆様から回収した衣類をリサイクル技術によりGREEN×EXPO 2027の横浜市出展施設のユニフォーム素材として活用します。

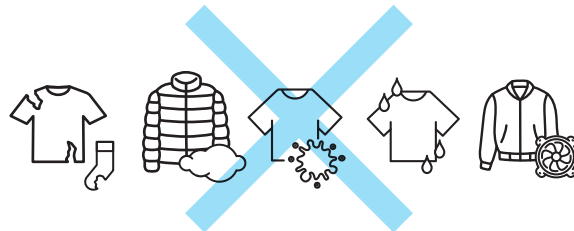
回収できるもの

乾いている衣類
(Tシャツ・シャツ・ボトムなど)で
ポリエステル100%、
綿100%素材のもの



回収できないもの

濡れた服、汚れた服、破れた服、
わたが入っている服、
ファン付作業服



上記の素材以外の衣類についても回収後はリユース・リサイクルに活用します

回収期間

～ 令和8年3月31日(火)

回収拠点 (令和8年1月16日時点、随時拡大予定)

- ・横浜市庁舎・区庁舎・横浜市立図書館
- ・あいおいニッセイ同和損害保険(株) 横浜支店・AOKI 市内全店舗
- ・JGC Digital(株)(するーぶ)・日本生命保険相互会社 横浜北支社
- ・無印良品市内一部店舗・横浜国立大学 キャンパス内

お問い合わせ先 右のフォームより、お問い合わせください。

所管 横浜市脱炭素・GREEN×EXPO 推進局脱炭素ライフスタイル推進課

回収拠点の
最新情報は
こちらから



お問い合わせは
こちらから



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会
2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子と横浜市防犯のまちづくり 推進プラン(仮称)素案のパブリックコメント実施について(情報提供)

1 背景・概要

特殊詐欺などの増加による犯罪情勢の変化や、人口減少、少子高齢化の進展といった社会的変化に対応するため、市の責務を明確化し、市民や事業者とともに安心して安全なまちづくりを進めることを目的とする条例を制定します。また、条例の目的達成と実効性を担保し、体系的な防犯施策を推進するための計画づくりを進めています。条例案の骨子及び防犯計画の素案について、皆様の多様な意見を反映するため、パブリックコメントを実施します。

(1) 横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子

市の基本理念を示し、市の責務や事業者・市民の役割を明確化するとともに、地域との協働による犯罪抑止と防犯のまちづくりの方向性を定める条例です。

(2) 横浜市防犯のまちづくり推進プラン(仮称)素案

【期間 2026(令和8)～2029(令和11)年度<第1期>

先端技術の活用による防犯インフラ整備をはじめ、市民、地域、事業者、そして行政が一丸となって、犯罪を防止し、安心して安全なまちづくりを進めていくための、今後4年間の施策を体系化した計画です。

2 お願いしたいこと

【区連長】 ご承知おきください。

【地区連長】 地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】 単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 スケジュール今後の取組予定等

(1) パブリックコメント実施期間

2026年1月9日(金)～2月22日(日)

(2) 主な周知方法

- ・広報よこはま1月号
- ・市HP(防災・救急>防犯>お知らせ)
- ・各区役所 広報相談係
- ・市民情報センターでのチラシ配布

(3) パブリックコメント後のスケジュール

2026年3月 : 意見公募結果を公表

2026年5月～6月 : 令和8年第2回市会定例会へ上程

4 参考資料

参考1 横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子

参考2 横浜市防犯のまちづくり推進プラン(仮称)素案 概要版

参考3 チラシ(市民意見募集の実施について)

参考4 意見投稿用紙(郵送・FAX等でご活用ください)

市民局地域防犯支援課

担当 川口

電話 045-671-3705/FAX 045-664-0734

メール sh-anshinazen@city.yokohama.lg.jp

横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子

名称 「横浜市防犯のまちづくり推進条例」 (仮称)

概要 **市の責務並びに事業者及び市民の役割を明らかにし、防犯のまちづくりを推進することを目的とします。**

(※事業者や市民の皆さまに義務を課したり、権利を制限したりする内容ではありません。)

条例案の骨子

目的	横浜市における犯罪の防止に関し、市の責務、事業者及び市民の役割を明らかにすること。防犯のまちづくりを推進するために必要な事項を定め、もって安心して安全な住みよい地域社会の実現を総合的かつ計画的に推進すること など
基本理念	市、事業者及び市民がそれぞれの役割を果たしながら、協働して防犯に取り組むこと など
本市の責務	目的を達成するため、関係機関と連携すること。防犯のまちづくりに関する施策を策定し、実施すること
事業者の役割	事業活動に当たり、犯罪被害防止のための必要な措置を講じること。市の施策に協力するよう努めること
市民の役割	自らの犯罪被害を防止するために必要な措置を講じること。他の市民に犯罪被害が及ばないように留意すること。市の施策に協力するよう努めること
計画の策定	市長は、防犯のまちづくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、防犯のまちづくりに関する基本的な計画を定めること。計画の策定にあたっては、市民、事業者等の意見を反映できるよう必要な措置を講じること
施策の推進	市長は、データ分析やデジタル技術の活用等に積極的に取り組み、市民、事業者等の意識の啓発を推進し、相互に連携と協力を図るよう努めること など

横浜市防犯のまちづくり推進プラン(仮称)素案 概要版

1 計画策定の経緯

本市におけるこれまでの防犯の取組と成果

「よこはま安全・安心プラン」(平成17年策定)

横浜市では、平成17年に「よこはま安全・安心プラン」を策定し、「自分たちのまちは自分たちで守る」という理念のもと、市民一人ひとりが防犯の主体となる自主防犯力の強化を掲げました。この計画では、行政だけでなく、市民、事業者、警察、学校など地域に関係する多様な主体が連携し、地域ぐるみで犯罪を防ぐ仕組みづくりを推進してきました。

主な取組内容

- ・LED防犯灯の整備(約18万灯)
- ・地域主体による防犯活動の支援
- ・地域防犯カメラの設置補助
- ・様々な場面を活用した啓発活動

成果

これらの取組により、刑法犯認知件数は、戦後最高を記録した平成16年の74,667件から令和3年には12,746件へと、約6分の1にまで減少し、一定の成果がありました。

2 今日的な課題

犯罪情勢の変化(脅威)

近年、横浜市を含む全国的な犯罪情勢は大きく変化しており、犯罪の手口が多様化・巧妙化しています。

- ・特殊詐欺やSNSを悪用した詐欺の増加
- ・いわゆる「闇バイト」などによる凶悪事件の発生
- ・刑法犯認知件数の再増加(令和4年以降)

社会の変化(背景)

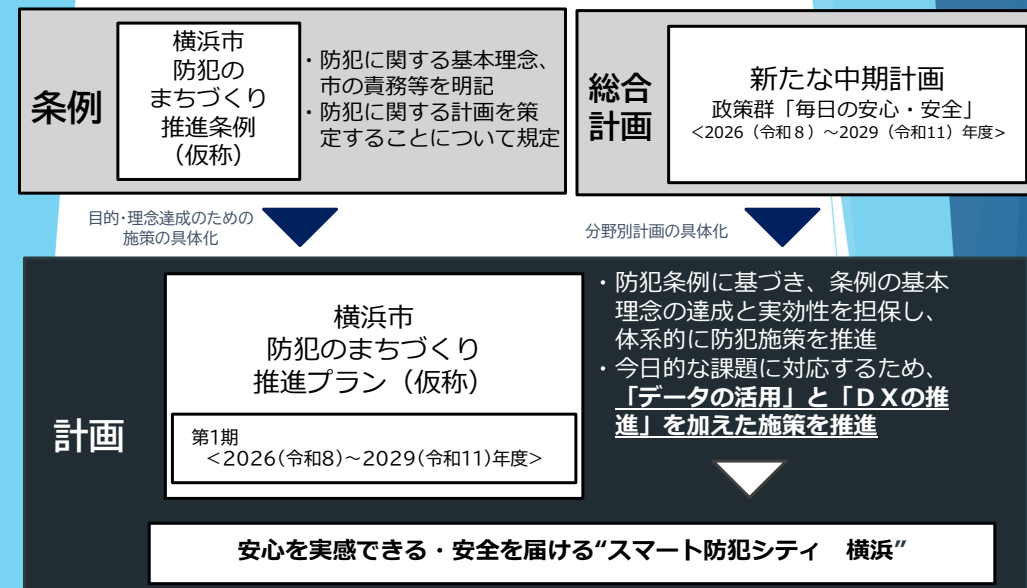
現代社会の構造変化により、地域防犯活動を取り巻く環境は大きく変化しています。

- ・少子高齢化の進行と世帯構造の変化
- ・地域コミュニティの希薄化

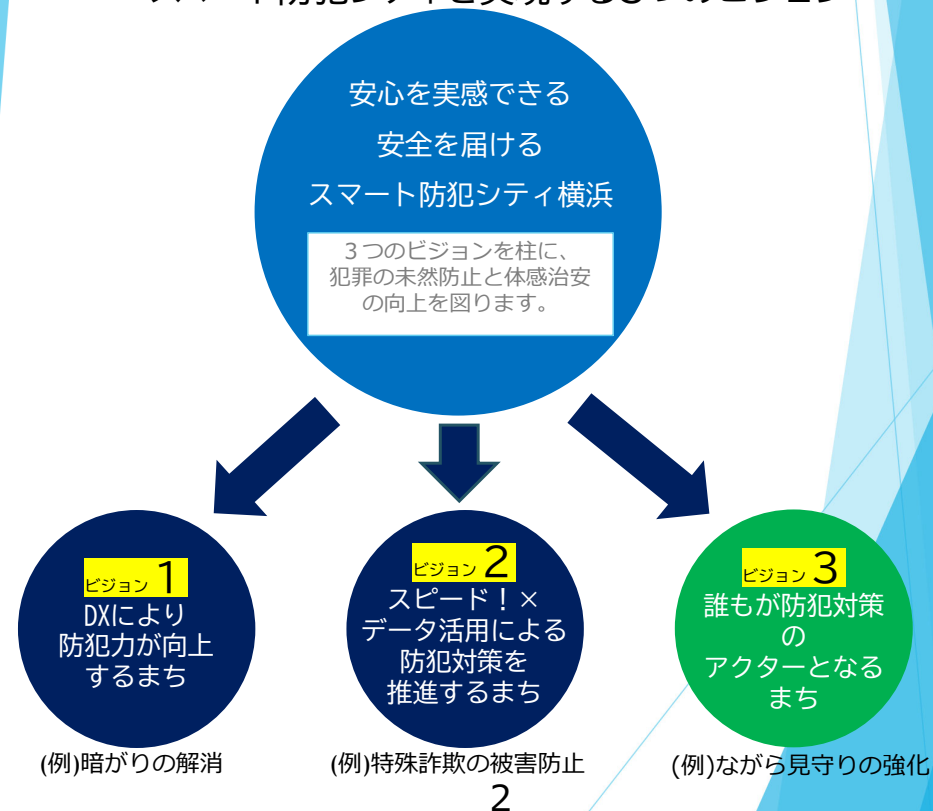
防犯条例・新たな防犯計画の必要性

- ・自治会・町内会の加入率が年々低下しており、地域コミュニティの再構築が求められる一方、従来の地域支援型の取組だけでは急速に変化する社会や犯罪手口の多様化に十分対応できないおそれがあります。
- ・市の責務を明確化し、防犯に関する基本的な考え方と取組方針を示すために新たな防犯条例を制定し、その条例に基づいて市が主導して防犯対策を体系的かつ計画的に推進するための行動計画を策定する必要があります。
- ・行動計画の実施にあたり、市民・地域・事業者・警察、そして行政が一丸となって、持続可能な安心・安全な防犯のまちづくりを実現します。

3 新たな防犯計画の方向性



スマート防犯シティを実現する3つのビジョン



ビジョン1 DXにより防犯力が向上するまち

<現状と課題>

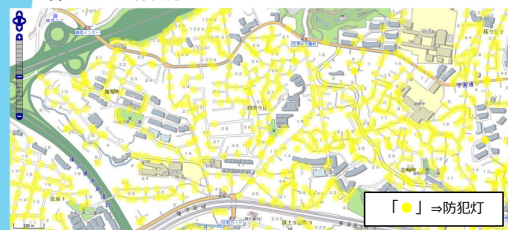
- ・夜間の暗い道路に対する不安感
- ・地域防犯活動の担い手不足
- ・子ども・高齢者を狙った犯罪と体感治安の悪化

<解決の方向性>

- ・安心を実感できる環境の構築
- ・防犯情報を可視化し、地域の安全を「見える化」

<取組案>

暗がりの解消



防犯灯の位置情報を記載した地図データ（イメージ）

<市民意識>

防犯上不安を感じる場所

夜間の道路（暗い道など）	71.7%
繁華街・歓楽街	58.2%
ネット空間（SNSなど）	39.6%
駅やその周辺	36.5%
公園や広場	29.6%
自宅	29.2%
通学路	11.8%
集合住宅の共用部	11.7%

地域の防犯活動への参加経験

・以前は参加していたが今は参加していない
・参加したことがない

67.5%

地域の防犯活動へ参加しない理由

時間的に余裕がない	41.0%
防犯活動の情報が届いていない	34.9%
参加したいが、どのような活動があるのかわからない	29.6%

<市民意識>

利用したいと思う防犯情報源

テレビやラジオのニュース・情報番組	46.7%
行政や警察の公式SNS	44.5%
自治会・町内会からの回覧板や掲示板	44.2%
行政や警察の公式広報誌	38.7%
行政や警察の公式Eメール配信サービス	36.5%
インターネットニュースサイト	31.2%
新聞や地域情報誌	27.7%
防犯アプリ（かながわポリスなど）	26.9%
行政や警察の公式ホームページ	24.7%

【出典】防犯意識に関するアンケート結果

<現状と課題>

- ・情報伝達の世代間ギャップ
- ・防犯に関心が薄い層への情報伝達
- ・犯罪リスクの多様化

<解決の方向性>

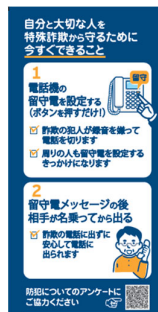
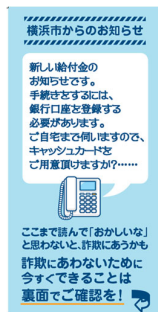
- ・防犯情報の発信手段の多様化
- ・SNSの即時性を活かした注意喚起と地図データによる防犯情報の「見える化」
- ・行動変容を促す効果的な情報発信

<取組案>

特殊詐欺の被害防止

【表】

【裏】



ナッジを活用した特殊詐欺被害防止啓発チラシ（R6）

3

ビジョン3 誰もが防犯対策のアクターとなるまち

<現状と課題>

- ・地域防犯活動の担い手不足（再掲）
- ・防犯活動の属人化
- ・参加機会の不足

<解決の方向性>

- ・誰もが自然に防犯に関われる環境整備
- ・多様な主体による協働
- ・防犯活動情報の発信
- ・夜間の安心感を高めるための防犯力の強化

<取組案>

ながら見守りの強化



横浜地域活動・ボランティア情報サイト「よこむすび」

<市民意識（再掲）>

地域の防犯活動への参加経験

・以前は参加していたが今は参加していない
・参加したことがない

67.5%

地域の防犯活動へ参加しない理由

時間的に余裕がない	41.0%
防犯活動の情報が届いていない	34.9%
参加したいが、どのような活動があるのかわからない	29.6%

【出典】防犯意識に関するアンケート結果

4 ロードマップ

2026（令和8）年 5月頃 条例の議案の上程・計画原案の策定

2026（令和8）年 条例の施行とともに計画開始

4

※ナッジ（nudge）とは、人々の行動を自然に望ましい方向へ促す工夫のことです。強制や命令ではなく、選択の自由を残しつつ、ちょっとした「きっかけ」や「仕掛け」で行動を変える方法です。

横浜市防犯のまちづくり推進条例 及びプラン(仮称)案について、 皆様のご意見を募集します！

意見募集期間：令和8年1月9日(金)～2月22日(日)



あなたの声が“安心・安全なまち”
よこはまを作ります！

横浜市市民局
地域防犯支援課

住 所：神奈川県横浜市中区本町
住 所：6丁目50番地の10 横浜市庁舎12階
電 話：045-671-3705
メー ル：sh-anshinzen@city.yokohama.lg.jp

詳細は
こちら！



横浜市防犯のまちづくり推進条例及びプラン(仮称)案 について市民の皆様からご意見を募集します！

(パブリックコメント)意見募集期間：令和8年1月9日(金)～令和8年2月22日(日)

1 経緯

横浜市では、平成17年に「よこはま安全・安心プラン」を策定し、“自分たちのまちは自分たちで守る”という自主防犯力の強化を掲げ、地域と行政の連携による防犯対策を推進してきました。

しかし近年、犯罪の手口は多様化・巧妙化し、刑法犯認知件数も増加に転じています。さらに、少子高齢化や地域のつながりの希薄化などにより、防犯活動の担い手確保が困難となっています。こうした今日的な課題に対応するため、市の責務を明確化した防犯条例を制定し、体系的な防犯対策を進める新たな防犯計画を策定します。つきましては、本案に対する市民意見（パブリックコメント）を募集します。ぜひ皆様のご意見・ご提案をお寄せください。

2 資料の公表方法

本意見募集の内容及び資料は、次の本市ウェブサイト（右の二次元コードを読み込み）に掲載します。併せて、各区役所 広報相談係、市民情報センター（市庁舎3階）及び担当窓口（連絡先等は本ページ末尾を参照）にて、令和8年1月9日(金)から2月20日(金)まで資料を配布・配架します。

(URL) <https://www.city.yokohama.lg.jp/bousai-kyukyu-bohan/bohan/oshirase1/test.html>



3 意見の提出方法

(1) 募集期間

令和8年1月9日（金）～令和8年2月22日（日）（必着。郵送の場合は左記の期間内の消印有効。）

(2) 提出方法

次の①から④のいずれかの方法により意見を提出してください。なお、電話での意見の提出には対応いたしかねますので、あらかじめ御了承ください。

①オンライン入力フォーム

右の二次元コードを読み込み、本市の電子申請・届出システムから提出してください。

②電子メール

意見投稿様式（上記2の本市ウェブサイトからダウンロード）に、意見を入力の上、次の電子メールアドレスに送信してください。

電子メールアドレス：sh-anshinzen@city.yokohama.lg.jp



③郵送又は持参

意見投稿様式に意見を記入の上、担当窓口（本ページ下段）まで郵送又は持参いただき、提出してください。（持参される場合は、平日8：45～12：00、13：00～17：15にお越しください。）

④ファクシミリ(FAX)

別添の意見投稿様式に意見を記入の上、次のFAX番号に送信してください。

FAX番号：045-664-0734

(3) 留意事項（次の事項を予め承知ください。）

- ・意見への個別の回答はいたしません。
- ・お寄せいただいた意見は、本件の目的のみに使用し、意見の提出に伴い取得したメールアドレス、FAX番号等の個人情報は「個人情報の保護に関する法律」の規定に従い適正に管理し、意見の内容に不明な点があった場合等の連絡・確認の目的に限って利用させていただきます。

4 今後のスケジュール

今回の意見募集に提出いただいた意見とそれに対する本市の考えは、上記2の資料の公表方法と同様に、本市ウェブサイト、各区役所区政推進課等にて令和8年3月ごろの公表を予定しています。市民の皆様からの意見を踏まえて更に検討を進め、令和8年5月ごろの市会に条例を議案として上程、計画(プラン)原案を策定する予定です。

◆担当窓口（意見提出先／問合せ先）

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 横浜市庁舎12階

横浜市 市民局 地域防犯支援課

電話：045-671-3705（平日8:45～17:15）Email：sh-anshinzen@city.yokohama.lg.jp

意見投稿用紙

令和 年 月 日

市民局地域防犯支援課 宛て

横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)案 骨子、横浜市防犯のまちづくり推進プラン(仮称)素案について、以下のとおり意見を提出します。

(別紙に記載する場合は「別紙に記載」と明記し、意見を記載した別紙を添付してください。)

ご意見を記入される方について（該当する項目にチェックをつけてください。）	
【居住】	<input type="checkbox"/> 青葉区、 <input type="checkbox"/> 旭区、 <input type="checkbox"/> 泉区、 <input type="checkbox"/> 磯子区、 <input type="checkbox"/> 神奈川区、 <input type="checkbox"/> 金沢区、 <input type="checkbox"/> 港南区 <input type="checkbox"/> 港北区、 <input type="checkbox"/> 栄区、 <input type="checkbox"/> 瀬谷区、 <input type="checkbox"/> 都筑区、 <input type="checkbox"/> 鶴見区、 <input type="checkbox"/> 戸塚区、 <input type="checkbox"/> 中区、 <input type="checkbox"/> 西区 <input type="checkbox"/> 保土ヶ谷区、 <input type="checkbox"/> 緑区、 <input type="checkbox"/> 南区、 <input type="checkbox"/> 横浜市外
【性別】	<input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 回答しない
【年代】	<input type="checkbox"/> 20 歳未満 <input type="checkbox"/> 20～29 歳 <input type="checkbox"/> 30～39 歳 <input type="checkbox"/> 40～49 歳 <input type="checkbox"/> 50～59 歳 <input type="checkbox"/> 60～69 歳 <input type="checkbox"/> 70 歳以上
意見の内容 ※条例、プラン(ビジョン1～3等)についてご意見願います。	

- ※1：法人又は団体にあつては、その名称並びに代表者の肩書及び氏名を記載してください。
- ※2：用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、別紙に記載する場合は、ページ番号を明記してください。
- ※3：御提出いただいたご意見の結果は、後日公表させていただきます。
- ※4：ご意見を正確に把握する必要があるため、電話による御意見はお受けしていません。また、御提出いただいたご意見に対する個別の回答はいたしかねます。あらかじめ御了承ください。
- ※5：御提出いただいたご意見は、個人情報の保護に関する法律に則り、適正に管理し、御意見の内容に不明な点があった場合の連絡・確認といった、本案に対する意見募集に関する業務にのみ利用させていただきます。
- ※6：電子メール、郵送又は市民局地域防犯支援課への持参、ファクシミリ(FAX)にてご提出ください。
- 【送付先】市民局 地域防犯支援課
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地1012階
FAX：045-664-0734
電子メール：sh-anshinzen@city.yokohama.lg.jp

自治会町内会ポータルの運用開始について【情報提供】

1 事業の趣旨

令和 8 年 4 月から、自治会町内会ポータルの運用を開始します。

これにより、地域活動推進費補助金の申請等の手続きが、パソコンやスマートフォンからオンラインで行えるようになります。（従来通り、紙での申請も可能です。）

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3 自治会町内会ポータルの概要

(1) オンライン申請可能な項目

① 補助金申請

- ・地域活動推進費補助金
- ・地域防犯灯維持管理費補助金
- ・町の防災組織活動費補助金

② 基礎情報（現況届・口座情報等）提出

③ 委嘱委員の推薦届出

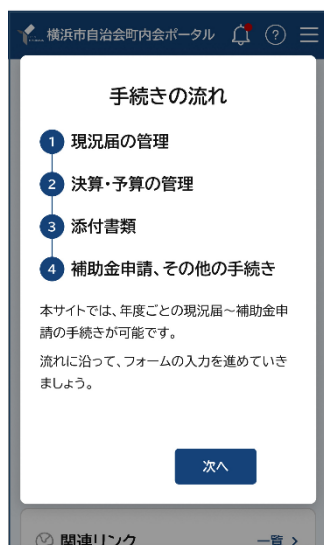
④ 防犯灯新設・移設に係る申請

(2) 今後のスケジュール

2 月～3 月 区より自治会町内会へポータルログイン用の初期 ID・パスワードを配付

4 月 1 日 ポータルの運用開始予定

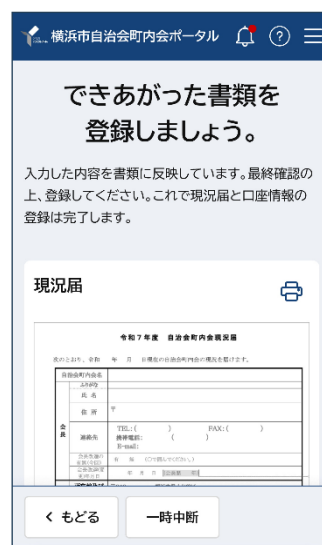
(3) 画面イメージ（スマートフォン版） ※画面は開発中のものです。



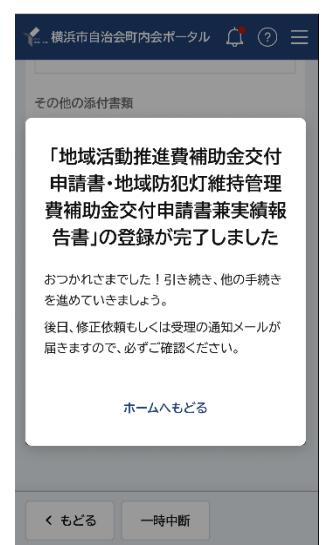
手続きのご案内画面



申請する補助金の確認画面



作成書類の確認画面



完了画面

市民局地域活動推進課

担当 栗田、石栗

電話 045-671-3624 FAX 045-664-0734

メール sh-jichikai@city.yokohama.lg.jp

令和8年1月19日

自治会・町内会会長様
広報配布担当者様

社会福祉法人
横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会
事務局長 美戸孝紀

本会広報紙「社協ほどがや（53号）」の配布について（依頼）

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より本会の事業推進にあたり、多大なるご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本会では社会福祉への理解を促進し、“誰もが暮らしやすいまちづくり”を推進する事業の一環として、広報紙「社協ほどがや」を発行しております。

この度、「社協ほどがや53号」を1月下旬に発行いたしますので、ご多忙の折大変恐縮ではございますが、貴自治会・町内会の各世帯へ配布をお願い申し上げます。

◇広報紙名 社協ほどがや（53号） 1月発行

◇体裁等 A3版フルカラー1枚（両面2ページ） 二つ折り

◇配布日程 令和8年1月下旬に、「広報よこはま」と同じ配送ルートで
ご指定の場所へお届けします。

◇配布先 保土ヶ谷区内全世帯、区内公共施設等

◇発行部数 86,000部

※なお、配布手数料については、令和8年1月に送金を予定しております。

お問い合わせ

横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会（担当：末廣）

〒240-0001 保土ヶ谷区川辺町5-11 かるがも3階

TEL：341-9876 FAX：334-5805

令和8年1月発行



社協

ほどがや

No. 53

【発行】

社会福祉法人 横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会

〒240-0001 横浜市保土ヶ谷区川辺町5-11 かるがも3階 TEL:341-9876 FAX:334-5805
ホームページ: <http://www.shakyohodogaya.jp/> Eメール: h@shakyohodogaya.jp

全国社会福祉協議会会長表彰を受賞！ 和・釜台地区社会福祉協議会

このたび、和・釜台地区社会福祉協議会が、地域福祉の推進における長年の功績と継続的な取り組みが高く評価され、全国社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。

心よりお祝い申し上げます。

これからも地域の皆さまのために、さらなるご活躍を期待しております。



こどもから大人まで、 誰もがつながり、安心して暮らせるまちへ。

地域には、年齢や立場を越えて支え合える力があります。社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らせる地域社会をみんなでつくりだす」という理念のもと、子どもから高齢者まで、誰もが安心して集える場づくりを進めています。食を通じたふれあいや、認知症の方を地域で支える取り組みなど、住民一人ひとりが主役となるまちづくりが、少しずつ形になってきました。今回は、そんな地域のあたたかな動きや、未来につながる活動の様子をお届けします。

紹介します

わだ・かま食堂

～ みんなで楽しく !! 地域の絆をつなぐ地域の食堂 ～

高齢化やコロナ禍の影響で希薄になりつつあった地域のつながりを再び深めようと、住民アンケートや担い手懇談会などを重ねて生まれたのが、**誰でも気軽に参加できる「わだ・かま食堂」**です。和・釜台地区社会福祉協議会が開催しています。

令和6年度には、他地区の見学・調査・子ども会等からの意見聴取を経て、16名の担い手が集まり、10月と翌2月に試験的な開催を決定。広報を始めると、企業や地域から食材提供の支援が寄せられ、寄付金も2件届くなど、**温かい応援の輪**が広がりました。

初回はカレーライス先着40食を用意し、小学生22名、大人34名の計56名が来場。予想を超える盛況ぶり、**地域の新たな交流の場**として幸先の良いスタートを切りました。

令和7年度には担い手がさらに4名増え、毎回寄付金も集まるなど、活動は着実に地域に根付くつつあります。今後は、**子どもの居場所づくりや多世代交流の場**として、年6回から12回の開催を目指し、担い手に無理なく、みんなが楽しめる食堂づくりを進めていきます。



誰もが気軽に参加できる場のなかで、子どもたちと一緒にふれあいながら楽しく活動できて嬉しいです。

友達といっしょに夕食が食べられてとても嬉しいです！

会場にぎやかで、とても楽しくお手伝いをしています！

取材しました

多世代交流サロン

みんなの居場所 わっか

～ 安心して暮らせる地域の「見守りの輪」～

中央東部地区社会福祉協議会では、「**多世代交流サロン わっか**」を地区内の2つの会場で開催しています。今回は、鎌谷町自治会館で開催されている「**かまわっか**」を紹介します。

インタビューに応じて下さった主任児童委員の大西さんは、参加者が一時ゼロとなり、活動の継続を悩んだ時期もあったそうです。そこで、今年度から子育てサロン「Q ピー」と、「かまわっか」の合同開催という形でスタートし、新たな**多世代交流の場**としての活動へとつながっています。大西さんは、「参加者にとつての居場所づくりだけでなく、運営する側にとつてもやりがいや居場所となっている」と語っていました。

訪問時には、4ヶ月のお子さんを連れて初参加されたママが、別の参加者にお子さんをあやしてもらいながら、クラフトづくりを楽しむ姿が見られました。そこは、**世代を越えて支え合う、安心して暮らせる地域の「見守りの輪」**がありました。



クラフトづくり「満月とうさぎ」作成の様子

お知らせします

地域で支える認知症ケアの輪

チームオレンジ

～ 認知症の方も家族も、安心して暮らせる

まちづくりを目指して～

地域ケアプラザでは、認知症の方が孤立せず、地域の仲間として輝ける環境づくりを進めています。誰もが安心して暮らせるまちを目指して、ぜひ「**チームオレンジ**」の仲間に加わってみませんか？

●チームオレンジって？

認知症の方とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、地域の方が主体となって**支え合う取り組み**です。認知症の方の「やりたいこと」や「希望」を大切に、ご本人やご家族も**チームの一員として参加**することが大きな特徴です。



認知症の人も畑作業で活躍中！

●主な活動内容は？

認知症の方の外出支援や見守り、話し相手などの日常生活支援をはじめ、認知症カフェやサロンの開催など、認知症の方とその家族の交流・情報交換の場の提供も行っています。また、認知症の理解を深めるための啓発活動や認知症の方の困りごとに対応できるように地域の支援者との連携強化にも取り組んでいます。

各地域ケアプラザで実施中！





地域食堂



高齢者サロン



配食サービス

■地区社会福祉協議会（以下、地区社協）

地域の方々が「自分の地域は自分たちでよくしていこう」という気持ちで組織された任意の団体です。保土ヶ谷区には22の地区社協があり、高齢者食事会、見守り活動、多世代交流イベント、子育てサロン、福祉保健講座、広報紙の発行など、地域住民同士のつながりづくりに向けて、各地区で様々な取り組みをしています。

地域の活動を
支える取り組みの
紹介するよ

企業や学校の社会貢献

区内の企業などが社会貢献の取り組みを行っています。

●具体的な取り組みは？

株式会社ジャンボリアが2017年から地域子ども食堂に食材提供を行っています。

赤い羽根共同募金

ご協力いただきありがとうございます。いただいた募金はふれあい助成金（ボランティアグループや市民活動団体などへの活動支援のための助成金）や福祉啓発事業（福祉施設の整備費や区社会福祉協議会の事業費）などに活用されます。

●令和6年度の実績は？

総額14,823,491円のご協力をいただきました。

●詳しい使い道は？

右記二次元コードからご覧ください。



世帯賛助会費

各自治会町内会からお寄せいただいた世帯賛助会費の60%はお住いの地区社協の活動費として還元されます。残りの40%は区社会福祉協議会の事業費として活用されます。

●令和6年度の実績は？

総額11,462,350円のご協力をいただきました。

ボランティアセンター

地域でボランティアを必要としている地域福祉活動団体や地区社協などに、ボランティアを紹介しています。ボランティア活動に関心のある方はぜひお気軽にご連絡ください。



ボランティア
登録はこちら



活動報告は
こちら

善意銀行

区民の皆様からの善意の寄付を受け付けています。いただいた寄付金は区内の地域福祉活動支援や生活困窮者支援に役立てられています。

◆寄付方法◆

区社協窓口（平日9時～17時）

銀行振込

横浜銀行 和田町支店（普通）0342527

社会福祉法人 横浜市保土ヶ谷区社会

福祉協議会 善意銀行

※お振り込みの際は、必ず事前にご連絡ください

地域福祉保健計画（保土ヶ谷ほっとなまちづくり）

誰もが安心して暮らせるように、様々な人や団体がつながり、支えあって、身近な地域をより良くしていくための計画です。この計画は、地域での福祉や保健の取り組みを進めるための大切な指針であり、「見守り・支え合い」「いきいき健康」「担い手づくり・情報」の3つのテーマを掲げ、各地区の活動を支援しています。

ご案内

ほっとなまちづくりフォーラム

～第42回保土ヶ谷区社会福祉大会～

地域福祉活動等に功績のあった方々の表彰などを行います。

多くの方のご来場をお待ちしています。

日時：令和8年3月7日（土）13：30～16：00（13：00開場）

場所：保土ヶ谷公会堂（保土ヶ谷区星川1-2-1）

内容：社会福祉功績者表彰式典、福祉バザー

地区活動発表（中央東部地区、常盤台地区、千九台地区）

まってるよー！



ボランティア募集！

じゃがボラくんのPRを手伝ってくれるボランティアさんを募集しています！

詳しくはボランティアセンターまでお問い合わせください。

じゃがボラくんのプロフィール

名前：じゃがボラくん

性別：じゃがいも

出身：保土ヶ谷のどかな大地

好きな食べ物：バター、しおから

苦手なもの：紫外線

特技：みんなをホクホクな気持ちにさせること

趣味：山をのんびり転がること

ボランティア活動を応援すること

誕生日は
3月15日!!



編集後記

民生委員を33年間務めた母の後ろ姿を見て育った私。子どもから、高齢者、認知症の方々等、みんなでワイワイ【和い、輪い】触れあう、そんなつながりを生きたい。社会人時代南米ブラジルに駐在中、日系老人ホームを子供たちと慰問に訪れました。日本への望郷の念を抱くお年寄りとの交流——“ふるさと”の歌に涙を流すお年寄りを通して、ふれあいの大切さを改めて考えさせられました。

（編集委員長 根本和治）

*この広報紙は共同募金配分金を活用して発行しています。

*この広報紙のデジ版を、保土ヶ谷録音グループ「はし」の協力により発行

しています。ご希望の方は保土ヶ谷区社会福祉協議会までご連絡ください。

【編集委員】（五十音順）内田優子・齊藤誠・佐々木安恵・菅沼久美子・

大尾美登里・根本和治・播口輝二・町田貴宏



令和8年1月 19 日

各自治会町内会 会長 様

社会福祉法人
横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会
事務局長 美戸 孝紀

日本赤十字社会費募集協力事務費及び共同募金広報紙「共同募金ほ도가やだより」・
区社協広報紙「社協ほ도가や」配布にかかる手数料の送金について

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、地域福祉事業の推進につきましては、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この度は、標記の件につきまして、変わらぬご協力を頂戴し誠にありがとうございます。

次のとおり貴自治会・町内会指定金融機関に当該手数料を振り込みさせていただきたく存じます。なにとぞご確認の程よろしくお願い申し上げます。

1 送金額

	項 目	金 額	積算根拠
1	日赤会費募集協力事務費	各自治会町内会ごとの金額を挿入します。	会費実績額×8% (10円未満切り捨て)
2	共同募金広報紙 「共同募金ほ도가やだより」 配布手数料		「共同募金ほ도가やだより」 配布部数×2 円
3	区社協広報紙 「社協ほ도가や」配布手数料		「社協ほ도가や」 配布部数×4 円
	合 計(送金額)		

2 振込日 令和8年1月 29日(木)(予定)

【問い合わせ】

保土ヶ谷区社会福祉協議会

担当: 高井・三枝・末廣

《TEL》 341-9876

横浜地域活動・ボランティア情報サイトよこむすびの登録開始について

1 趣旨

自治会町内会をはじめとする市民活動団体が行うイベント情報やボランティア募集情報を一元的に発信できるサイト「横浜地域活動・ボランティア情報サイトよこむすび」を令和 7 年 4 月にオープンしました。この度、保土ヶ谷区において、登録受付を開始しましたので、お知らせいたします。

2 自治会町内会の皆様へお願いしたいこと

(1) 地区連合自治会町内会長様

地区連合自治会町内会会議で本サイトについて周知をお願いいたします。

周知にあたっては、添付資料をご活用ください。

(2) 単位自治会町内会長様、広報ご担当者様

会の情報発信ツールとして活用をご検討ください。

3 サイトへの登録・操作について

団体登録申請画面から、ご登録いただくことができます。操作に迷われる方は、操作説明会に、ぜひご参加ください。説明会については、添付資料をご確認ください。

4 添付資料

- (1) よこむすび説明資料
- (2) よこむすび操作・登録説明会チラシ
- (3) よこむすびチラシ

【担当】

市民局市民協働推進課

担当：宮島・石井 TEL：045-671-4734

Email: sh-yokomusubi@city.yokohama.lg.jp

保土ヶ谷区地域振興課

担当：平野、土塔 TEL：045-334-6380

Email: ho-chiikiriyoku@city.yokohama.lg.jp

登録無料



に 登録して

自治会町内会 の 活動紹介 や ボランティア募集 をしてみませんか？

季節の行事など

学生ボランティアなど

NEW 1月19日から
保土ヶ谷区で登録できる
ようになりました！



とは？

自治会町内会、NPO、ボランティア団体など（※）、
地域で活動する団体のイベント情報やボランティア募集情報を
集めたポータルサイトです。

※対象団体：自治会町内会（委嘱委員の活動も登録可能）、区民活動支援センター登録団体、地区社会福祉協議会、公園愛護会、水辺愛護会、ハマロード・サポーター等の市民公益活動を行う団体
（令和8年1月現在）



掲載のメリット

メリット①

自治会町内会活動を広く知って
もらうことができます。



メリット②

活動を知ってもらい、参加者が増える
ことで、新たな仲間を増やすきっかけ
になります。



メリット③

活動の実施可否などをリアルタイム
に発信でき、ホームページの代わり
になります。
荒天時に活動中止の情報も、簡単に
発信可能です。



に情報を掲載するには？

ステップ①

団体登録申請 をします。

よこむすび 団体登録申請

検索



区役所確認後、
登録完了メールが届きます。



ステップ②

イベント情報 や
ボランティア募集情報 を
登録・掲載します（随時更新可能）。

問合せ

横浜市市民局市民協働推進課

電話番号：045-671-4734

メールアドレス：sh-yokomusubi@city.yokohama.lg.jp

保土ヶ谷区地域振興課地域力推進担当

電話番号：045-334-6380

メールアドレス：ho-chiikiriyoku@city.yokohama.lg.jp



よこむすび

横浜地域活動・ボランティア情報サイト

で活動が広がった事例

活用している団体からいただいた声



A自治会町内会の事例



夏祭りをイベント掲載したところ、
100人参加者が増えました！



B市民活動団体の事例

団体の仲間が
10人増えました！



C市民活動団体の事例



掲載記事を見た
3名の方から連絡が
あり、1名が活動メ
ンバーとなりました

ほかにも…

情報発信の新たなツールになった！

町内会のHPよりも広く周知できる

リアルタイムに情報発信できる



他の区の人にも活動を知ってもらえた

市のサイトに掲載している
という安心感がある

団体のウェブサイトとして
利用できる

デジタルだから伝わることもある！

地域内の現役世代への周知や、地域外の活動団体や学生の目に留まり、
新しい協働や仲間づくりの可能性が広がります



広告などをきっかけに
「よこむすび」につながる



スマホでいつでも見られるから、
学生や忙しい現役世代にも
情報が届けられる





自治会町内会の広報、スマホでもっと簡単・便利に



よこむすび

横浜地域活動・ボランティア情報サイト

操作・登録説明会

「使ってみいたいけど、操作がちっと不安…」
「どんな機能があるの？」という方、ぜひご参加ください！
説明会では、サイトの主な機能のご紹介から、申請・登録の流れまで、
実際に画面を見ながら一緒に操作していきます。
スマホが苦手な方も大歓迎！お気軽にご参加ください



説明会 概要

日時	2月27日(金) 10:00~11:30	会場	保土ヶ谷区役所 地下会議室
対象	自治会町内会、地区社会福祉協議会、公園愛護会、水辺愛護会、ハマロード・サポーター、市民活動支援センター登録団体		
費用	参加費・登録費ともに無料		
持ち物	パソコン・スマートフォンなどインターネットに接続可能な端末、筆記用具 ※パソコン、スマートフォンは十分に充電ができているか、ご確認ください。		
申込方法	横浜市電子申請システム（➡二次元コード）より申込み 申込期限：2月25日（水） ※ご不明点は、下記問合せ先までご連絡ください。		



よこむすび

こんな方におススメ！



地域のイベントを
もっといろんな人に
知ってもらえないかな？

一緒に活動する
仲間を増やしたい！



情報をスマホで簡単に
発信・更新できたら…

他区会場の説明会もご参加いただけます。
詳細は、二次元コード内でご確認ください。



▲保土ヶ谷区役所



お問合せ 保土ヶ谷区地域振興課 TEL: 045-334-6380 E-mail: ho-chiikiriyoku@city.Yokohama.lg.jp

市民局市民協働推進課 TEL: 045-671-4734 E-mail: sh-yokomusubi@city.yokohama.lg.jp

つながれば、
まちもじぶんも、
もっと好きになる。



ヨコハマでつながる、
広がる、楽しむ



よこむすび

横浜地域活動・ボランティア情報サイト



ヨコハマで地域活動に参加して、
新しい仲間と楽しい時間を過ごしませんか？



「よこむすび」は、自治会町内会、NPO 法人、ボランティア団体など、
地域で活動する団体のイベント情報やボランティア募集情報を集めたポータルサイトです。

市民のみなさんの情報収集の場として、ぜひご活用ください。（※）

（※）発信できる団体には一部制限があります。



横浜地域活動・ボランティア情報サイト よこむすび

検索



横浜市役所
市民局地域活動推進課

TEL : 045-671-2317 FAX : 045-664-0734

Copyright © City of Yokohama. All rights reserved.



よこむすび

横浜地域活動・ボランティア情報サイト



「よこむすび」の由来

ヨコハマのコミュニティをむすぶ、よこの人（隣の人、地域の人）をむすぶウェブサイトになるように、という思いが込められています。

イベントをさがす

横浜市内の活動団体が開催するイベント情報を検索できます。新しい学びや体験、仲間さがしに活用してください。



ボランティア募集をさがす

横浜市内を中心とした、ボランティア募集情報を検索できます。エリアや活動分野から、ご自身に合った活動を見つけてください。



団体をさがす

横浜市に拠点を置く活動団体を検索できます。興味のある団体が見つかったら、その団体が開催しているイベントやボランティア活動に参加してみましょう。



活動団体紹介

横浜市の市民活動やボランティア活動をより身近に感じていただけるよう、さまざまな団体をインタビュー形式の記事で紹介しています。



お知らせメールの登録方法

新着イベント情報・ボランティア募集情報をメールで受け取れます。

STEP 1



メールアドレス登録

STEP 2



本登録

STEP 3



登録完了

令和8年1月19日

地区連合町内会長 各位

保土ヶ谷区地域振興課資源化推進担当課長
(ほどがや花の街推進連絡会事務局長)

天野 健治

令和8年度「保土ヶ谷区花と街の美化推進功労者（団体）」
被表彰候補者の推薦について（依頼）

厳寒の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から、当連絡会の活動にご理解いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、ほどがや花の街推進連絡会では「ほどがや花憲章」の精神を生かし、街の美化等の推進に功労のあった個人・団体への表彰を、平成13年度より行っています。

つきましては令和8年度の被表彰候補者について、別紙推薦書により、該当する個人・団体の推薦をお願いします。

1 推薦依頼数

1地区（連合単位）につき1個人または1団体まで

2 表彰基準

- （1）公共の場を始めとした、人が多く集い又は往来する場所での清掃活動等に尽力するなど、清潔できれいな街づくりの推進に貢献したもの。
- （2）街の美化推進のため、ポイ捨て禁止を始めとする区民への指導、啓発、広報活動等に貢献したもの
- （3）花と緑を愛し、花いっぱいなどの緑化活動等を通じ、豊かでうるおいのある街づくりの推進に貢献したもの
- （4）資材、物品、施設等の提供を通じて、花と街の美化推進に寄与したもの
- （5）その他、花と街の美化推進に貢献したもの
- （6）美化活動年数が5年以上のもの

3 推薦期限

令和8年2月13日(金)

担当(提出先)：保土ヶ谷区地域振興課資源化推進担当
前田、高木 TEL:334-6304 FAX:332-7409

保土ヶ谷区花と街の美化推進功労者（団体）表彰要領

（目的）

第1条 この表彰は、ほどがや花憲章の精神を生かし、清潔できれいな街づくり、花や緑による美しい街づくりを通して、街の美化の推進に功労のあった個人又は団体等に感謝の意を表するとともに、その活動の地域への一層の広がりや定着を図ることを目的とする。

（表彰方法）

第2条 表彰は、保土ヶ谷区長（以下、区長という）が感謝状を授与し、記念品を贈呈してこれを行う。

（表彰基準）

第3条 表彰は、次の各号のいずれかに該当するもので、その業績又は貢献が顕著で、他の模範となる個人又は団体等に対して行う。

- (1) 公共の場を始めとした、人が多く集い又は往来する場所での清掃活動等に尽力するなど、清潔できれいな街づくりの推進に貢献したもの。
- (2) 街の美化推進のため、ポイ捨て禁止を始めとする区民への指導、啓発、広報活動等に貢献したもの
- (3) 花と緑を愛し、花いっぱいなどの緑化活動等を通じ、豊かでうるおいのある街づくりの推進に貢献したもの
- (4) 資材、物品、施設等の提供を通じて、花と街の美化推進に寄与したもの
- (5) その他、花と街の美化推進に貢献したもの
- (6) 主たる活動が上記の(1)～(5)に該当する市等から委嘱等された個人又は団体としての活動は除きます。

（推薦方法）

第4条 ほどがや花の街推進連絡会会長（以下、会長という）は、前条の表彰基準に従い区長に対して候補者を推薦し、被表彰者の決定を依頼する。

2 候補者の選考は、連絡会に設けられた幹事会がこれにあたる。

3 選考にあたり会長は、地域住民組織、各種市民団体の代表者、行政機関の長などから参考意見を聴取することができる。

（被表彰者の決定）

第5条 区長は、前条の規定により推薦された候補者の中から被表彰者を決定する。

- 2 区長は、前項の規定によるほか、特に必要と認める場合は被表彰者を決定し、表彰することができる。

(表彰の時期)

第6条 表彰は、原則として毎年1回行う。

(事務の所管等)

第7条 本表彰に係る事務については、保土ヶ谷区総務部地域振興課資源化推進担当が行う。

- 2 この要領に定めるもののほか、必要な事項は会長が別途定める。

附 則

この要領は、平成13年 9月18日から施行する。

この要領は、平成13年12月17日から施行する。

この要領は、平成15年 4月 1日から施行する。

この要領は、平成17年 4月 1日から施行する。

この要領は、平成19年 4月 1日から施行する。

この要領は、平成24年 5月10日から施行する。

この要領は、令和 3年 1月 4日から施行する。

推薦者氏名

[illegible]

<p>実施している</p> <p>活動内容</p>	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
<p>実施を進める ための独自の 取り組み</p>	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
<p>基本理念</p> <p>・</p> <p>目 的</p>	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
<p>写真貼付</p>	<div></div> <p>※資料等があれば添付してください。</p>
<p>そ の 他</p>	<div></div>

※ 活動内容などの記入は、いつ頃から・どのような・どれくらいの頻度で・今後の取り組み等を記入してください。

保土ヶ谷区花と街の美化推進功労者—(団体)—表彰
候補者—(団体)—推薦書

地区 ○○ 地区

推薦者氏名

次の者を保土ヶ谷区花と街の美化推進功労者（団体）表彰候補者（団体）の受賞者として推薦します。

ふりがな 氏名 (団体名)	かわべ		ほどこ		性 別	男 女
	川辺		保土子			
団体の場合	ふりがな					
	代表者氏名					
	団体人数	人				
住所 (団体の場合 代表者住所)	川辺町２－９		電話番号 (団体の場合 代表者電話)	045（３３４）６３０４		
功労区分	① 清掃活動 ② 広報・啓発活動 ③ 花と緑化推進活動 ④ 寄付等 ⑤ その他（ ）					
過去に受けた表彰等 (わかれば)						
推薦理由	●●●～○○○まで５００ｍ程を、天候に関わらず毎朝ごみ清掃活動を一人で行い、 ポイ捨て禁止を始めとする区民への啓発等、街の美化に貢献している。 ご自身の健康保持も兼ねてとのことだが、その姿勢には頭が下がるばかりであり、 また町内への波及効果も大である。					

実施している	<p>ごみ集積場所が自転車・バイクの放置場所と化している状況を是正するために、2015年1月より活動を開始。2017年10月で連続1,000日を達成した。</p> <p>毎朝5時から8時頃まで清掃を行っており、中でもたばこの吸殻、ペットボトル、枯れ葉、食べ物の包装紙がごみの大部分を占めている。</p>
活動内容	
実施を進めるための独自の取り組み	<p>ごみ清掃のみならず、通りすがりの区民との挨拶を励行することでポイ捨て禁止を呼びかけている。また、自治会で「身の回りで気になっている事・改善してほしい事」について聞き込み回覧を実施した結果、”ポイ捨てごみ、吸殻が多くて非常に見苦しい”という意見が多かったため、活動の意義をより一層感じて活動を継続している。</p>
基本理念・目的	<p>”ごみはスラム化のもと””街には、常にごみのない状態を維持し、管理されている印象づけが必要”と基本理念を掲げている。</p>
写真貼付	<p>※資料等があれば添付してください。</p>
その他	

※ 活動内容などの記入は、いつ頃から・どのような・どれくらいの頻度で・今後の取り組み等を記入してください。

保土ヶ谷区花と街の美化推進功労者（団体）表彰
候補者（団体）推薦書

地区 ○○ 地区

推薦者氏名

次の者を保土ヶ谷区花と街の美化推進功労者（団体）表彰候補者（団体）の受賞者として推薦します。

ふりがな 氏名 (団体名)			性 別	男・ 女
	〇〇の会			
団体の場合	ふりがな			
	代表者氏名	○□ △ ■		
	団体人数	約 30人		
住所 (団体の場合 代表者住所)	川辺町2-9		電話番号 (団体の場合 代表者電話)	045 (334) 6304
功労区分	① 清掃活動 2 広報・啓発活動 ③ 花と緑化推進活動 4 寄付等 5 その他 ()			
過去に受けた表彰等 (わかれば)				
推薦理由	〇〇の会は、○□氏を中心にマンション東側の歩道の清掃と30のプランターを置いて			
	毎年夏と冬の年2回花を植え替えています。			
	マンション通用門やエントランスなどにもプランターを多数設置し、会員の手できれいな花を植えてつけています。			
	活動を通じて、挨拶や会話の促進にもつながり、地域社会に良い影響を与えています。			

実施している 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年前からマンション東側の歩道の清掃 ・ 年2回の花の植え替え 毎年夏はベゴニアを中心に、秋にはパンジーを主に植えている。 ・ 植え替えた花が咲くころには、住民への周知活動を実施
実施を進める ための独自の 取り組み	プランターの土づくりを毎年2回実施している。 花や手入れ方法について、定期的に住民で講習会を開き、スキルの向上を図っている。
基本理念 ・ 目 的	住んでよかったと思えるまちづくり
写真貼付	<div></div> <p>※資料等があれば添付してください。</p>
そ の 他	

※ 活動内容などの記入は、いつ頃から・どのような・どれくらいの頻度で・今後の取り組み等を記入してください。

衆議院議員総選挙に向けた準備について（連絡）

日頃より、各種選挙の執行に格段の御協力を賜りありがとうございます。

さて、衆議院議員総選挙が、2月8日（日）または2月15日（日）に執行される可能性があるという報道されています。

このことを受け、投票日が確定する前ではありますが、急な選挙執行に備え、地区連合町内会長や関係自治会・町内会の皆様に、投票管理者及び期日前投票所の投票立会人の推薦依頼文を1月14日（水）に発送させていただきました。

短い期限となり誠に恐れ入りますが、上記の推薦依頼文をご確認の上、1月21日（水）までに推薦書をご返送いただきますようお願い申し上げます。

<添付資料>

資料1：第51回衆議院議員総選挙 「投票管理者」推薦依頼先一覧

資料2：第51回衆議院議員総選挙 「投票立会人（期日前投票所）」推薦依頼先一覧

【担当】

保土ヶ谷区選挙管理委員会事務室 山本、井上、荒井
(保土ヶ谷区総務課統計選挙係)

電 話：334-6206

FAX：334-6390

第51回衆議院議員総選挙
「投票管理者」推薦依頼先一覧

資料1

依頼先区分	依頼先団体名	投票区	投票所名	【参考】投票所ごとの従事者数（人）				
				有権者数	投票管理者	投票立会人	民間従事者	区職員
地区連合町内会	保土ヶ谷地区連合自治会	37	瀬戸ヶ谷小学校	6,305	1	2	8	4
	保土ヶ谷中地区連合自治会	3	初音が丘地区センター	2,770	1	2	7	4
	保土ヶ谷東部地区連合自治会	1	岩崎小学校	6,301	1	2	8	4
		2	岩崎地域ケアプラザ	1,482	1	2	7	4
		7	イコットハウス	5,711	1	2	8	4
		9	桜台小学校	6,639	1	2	8	4
	保土ヶ谷西部連合自治会	4	初音が丘小学校	6,053	1	2	8	4
		35	ほどがや防犯センター	5,314	1	2	8	4
	新桜ヶ丘地区連合自治会	36	藤塚小学校	5,277	1	2	8	4
	権太坂境木地区連合自治会	5	境木小学校	5,301	1	2	8	4
		6	権太坂小学校	4,186	1	2	7	4
		39	権太坂コミュニティハウス	3,121	1	2	7	4
	岩井町原連合町内会	8	富士見台小学校	3,719	1	2	7	4
	岩間地区連合町内会	10	偕恵いわまワークス	7,016	1	2	8	4
		20	星川小学校	5,316	1	2	8	4
		22	コンフォール明神台集会所	1,909	1	2	7	4
	中央連合町内会	11	帷子小学校	2,251	1	2	7	4
		12	ほどがや地区センター	5,402	1	2	8	4
		16	峯小学校	7,198	1	2	8	4
	中央東部地区連合町内会	13	浅間台小学校	3,637	1	2	7	4
		14	ろう特別支援学校	4,457	1	2	7	4
		15	峰沢団地集会所	1,743	1	2	7	4
		19	峯岡幼稚園	2,879	1	2	7	4
	和田・釜台地区連合町内会	17	和田西部町内会館	4,294	1	2	7	4
	常盤台地区連合町内会	18	常盤台小学校	7,053	1	2	8	4
	川島東部連合町内会	27	川島第四町内会館	2,834	1	2	7	4
		29	川島第五町内会館	2,732	1	2	7	4
	仏向地区連合町内会	21	仏向小学校	3,522	1	2	7	4
		23	坂本小学校	7,284	1	2	8	4
		24	橘中学校	5,105	1	2	8	4
	川島原地区連合会	25	くぬぎ台小学校コミュニティハウス	3,169	1	2	7	4
	西谷連合町会	30	西谷地区センター	6,167	1	2	8	4
	上新地区連合自治会	38	新井小学校	2,249	1	2	7	4
	上菅田地区連合自治会	31	上菅田中学校	2,870	1	2	7	4
		32	上菅田笹の丘小学校	4,689	1	2	7	4
		40	上菅田特別支援学校	2,168	1	2	7	4
自治会町内会	横浜・星の丘ビューシティ自治会	26	ハイム向台集会所	2,981	1	2	7	4
	上星川団地自治会	28	上星川町内会館	5,546	1	2	8	4
	県営笹山団地自治会	33	県営笹山団地集会所	1,352	1	2	7	4
	千丸台団地自治会	34	千丸台団地第一集会所	3,248	1	2	7	4

※ 次の地区連合町内会に対しては、「投票管理者」の推薦は依頼いたしません。

① 保土ヶ谷南部地区連合自治会 ② 上星川地区連合町内会

※ 地域における従事者確保の負担軽減のため、有権者数5,000人未満の投票所の民間従事者の配置数を1名減とします。

・ 有権者数5,000人以上の投票所の従事者数：8人 有権者数5,000人未満の投票所の従事者数：7人

なお、有権者数5,000人未満の投票所で減員による影響が大きく、かつ、従事者確保が可能ならば8名配当いたしますので、御連絡ください。

※ 有権者数は、令和7年12月1日現在の人数です。

「投票立会人（期日前投票所）」推薦依頼先一覧

期日前投票日		保土ヶ谷区役所 地下1 階会議室	期日前投票日		イコットハウス
1月28日	(水)	中 央 連 合 町 内 会	(開設しません)		
1月29日	(木)				
1月30日	(金)	岩 間 地 区 連 合 町 内 会			
1月31日	(土)		1月31日	(土)	岩 井 町 原 連 合 町 内 会
2月1日	(日)	仏 向 地 区 連 合 町 内 会	2月1日	(日)	
2月2日	(月)		2月2日	(月)	保 土 ヶ 谷 地 区 連 合 自 治 会
2月3日	(火)	保 土 ヶ 谷 西 部 連 合 自 治 会	2月3日	(火)	
2月4日	(水)		2月4日	(水)	保 土 ヶ 谷 南 部 地 区 連 合 自 治 会
2月5日	(木)	和 田 ・ 釜 台 地 区 連 合 町 内 会	2月5日	(木)	
2月6日	(金)		2月6日	(金)	保 土 ヶ 谷 東 部 地 区 連 合 自 治 会
2月7日	(土)	上 星 川 地 区 連 合 町 内 会	2月7日	(土)	

“お互いに 一声かけて見守りを!”

発行：横浜市消費生活総合センター

リチウムイオン電池の 発火事故に注意!



外出中に、かばんの中でスマートフォンを充電していたら、モバイルバッテリーが熱くなり煙が出た。

(相談者：50歳代 男性)

スマートフォンやモバイルバッテリーなどに使用されているリチウムイオン電池による事故が増えています。落下などの強い衝撃や、かばんの中などで充電中に熱がこもると発煙・発火する場合があるので注意しましょう。



事故防止のポイント



- ☑ 電気用品安全法の基準に適合した製品につけられるPSEマークやリコール情報を確認する!

(PSEマークがないと販売できない)

- ☑ 充電は安全な場所で行い、就寝中は避ける!
- ☑ 膨張などの異常があれば使用を中止する!



～消費生活教室のお知らせ～

【問合せ先】「消費生活教室」担当電話 045-845-5640

令和8年2月19日(木) 13:30～15:30 「悪質な点検商法から身を守る」 都筑区役所 6階大会議室

令和8年3月11日(水) 13:30～15:30 「悪質な点検商法から身を守る」 栄区役所 新館4階8、9号会議室



横浜市消費生活総合センター

検索

相談事例など暮らしに役立つ情報満載!

消費生活相談電話 045-845-6666 (平日 9:00～18:00 土・日 9:00～16:45)

令和7年度
保土ヶ谷区防災講演会

SUNSTAR

×
保土ヶ谷消防署
×
保土ヶ谷区役所



もしもに備える！

オーラルケアと防災



日時

令和8年 **2月28日(土)**
13:30~15:30

(開場、各ブース開始時間 12:30)

講師

国崎 信江氏

危機管理教育研究所代表
危機管理アドバイザー



横浜市生まれ。女性や生活者の視点で家庭、地域、企業の防災・防犯・事故防止対策を提唱。
講演、執筆、リスクマネジメントコンサルなどの他、内閣府「防災スペシャリスト養成企画検討会」委員、東京都「震災復興検討会議」委員などを務める。
現在はNHKラジオ マイあさ！の「暮らしの危機管理」のコーナーに出演中。

場所

保土ヶ谷公会堂 講堂
(保土ヶ谷区星川1-2-1)

予約方法

事前予約制(先着500名)

電子申請

2月19日(木)まで

手話通訳、要約筆記をご希望の方は、
電子申請の際、ご記載ください。



内容

◎ 被災地支援の経験から学ぶ防災

- ・被災地での活動について
- ・災害時における対応について

～サンスター研究員による～

◎ 災害時のオーラルケアの重要性について

来場者プレゼントも
あります！！



起震車乗車体験



キャラクター撮影会



保土ヶ谷区マスコット
ほどびー

横浜市消防局マスコットキャラクター
ハマくん

サンスター株式会社 主任研究員
博士(エネルギー学) 戸畑温子氏



展示ブース

- ・サンスター株式会社
- ・無印良品
- ・BOSAIラボ など
(横浜国立大学学生)

問い合わせ:保土ヶ谷消防署 総務・予防課 ☎045-342-0119

主催:保土ヶ谷消防署、保土ヶ谷区役所総務課(保土ヶ谷区災害対策連絡協議会)

共催:サンスター株式会社

協力:保土ヶ谷火災予防協会

つながり支えあい 安心していきいきと暮らせるまち
ほ도가や その未来を一緒に考えませんか



保土ヶ谷区マスコット
ほどぴー



地域福祉保健計画キャラクター
ちふくちゃん



令和8年度スタート！

第5期

保土ヶ谷ほっとなまちづくり

「保土ヶ谷ほっとなまちづくり」
とは、誰もが安心して暮らせる
ように、身近な地域をより良く
していくための計画です！

ほっとなまちづくりフォーラム 第42回 保土ヶ谷区社会福祉大会

地域福祉に貢献された方々への感謝と表彰を行うとともに、各地区の特徴的な取組等を共有し、福祉への理解を深める催しを開催します。

日時：令和8年3月7日(土) 13:30～16:00

場所：保土ヶ谷公会堂

(13:00 開場)

入場無料／申込不要

13:30～14:00 社会福祉功績者
表彰式典

14:10～16:00 地区活動発表

テーマ：「見守り・支えあい」

中央東部地区/常盤台地区/千丸台地区

コメンテーター

関東学院大学 社会学部 教授 小沼 春日氏

主催

- ・社会福祉法人横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会
(問い合わせ ☎ 341-9876)
- ・保土ヶ谷区役所



13:00から福祉バザーも開催！

見つけた！
横浜で
フクシの
ワタシ

障害者福祉施設・事業所の職員になってみませんか？

障害福祉の お仕事フェア in ほどがや

令和8年

3/1

13:00
～15:30

(日)

入退場自由

履歴書不要

申込不要

服装自由

4ブース巡りで
プチプレゼント！

現場で働いている人
の話が聞けます。

場所

ほどがや
地域活動ホーム
ゆめ

(相鉄線 星川駅南口・東口、
天王町駅YBP口)

子どもの遊べるスペースあります

職員、アルバイト、パート、ボラン
ティアに興味のある方、これから
就活の方も大歓迎！

すきま時間の有効活用～正規
職員まで幅広く！



お仕事フェアの
詳細ページが
見られます！



感染症等の影響で中止になる場合があります。ホームページでの確認、及び、下記連絡先にお問い合わせください。

主催・問い合わせ先：ほどがや地域活動ホームゆめ（〒240-0005 保土ヶ谷区神戸町 140-2 Tel.045-340-3360）

共催：保土ヶ谷区、保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会

後援：横浜市健康福祉局、社会福祉法人横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会、横浜公共職業安定所（ハローワーク横浜）、
社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会かながわ人材センター

出展法人

障害のある人たちが製作している自主製品も販売します！

鶴ヶ峰



社会福祉法人同愛会

西谷

社会福祉法人幸会



上星川



社会福祉法人
夢21福祉会

社会福祉法人十愛療育会



和田町

NPO法人
ダンボの会



星川

社会福祉法人ほどがや



天王町

NPO法人
きてん
社会福祉法人
横浜市福祉サービス協会



社会福祉法人
光風会

↑海老名方面
相鉄線

←戸塚方面 横須賀線

保土ヶ谷

横浜

横浜市西部
地域療育センター

(有)ウェルテック
むらさき

かながわ福祉
人材センター

こちらは
相談ブース
です



来年度も開催決定！同場所にて
令和8年7月5日(日) 13:00~15:30

【かながわ福祉人材センターの相談ブース】

福祉のお仕事（施設の種類・仕事内容・資格取得方法など）について個別相談を行っています。

保 土 ケ 谷 区 制 100周年通信

2026/1
Vol.8

この通信では、100周年に関する取組を皆さまにお知らせしています。

100周年ロゴマーク決定 !!

100周年を記念してロゴマークを制定しました。デザインは横浜国立大学の先生と学生の皆さまに制作していただきました！地域のイベントや学校行事などで、ご活用ください！

見かけたら
声をかけてね！

利用方法はこちら▶



実行委員会を開催しました！

100周年に向けた取組について、意見交換を行いました！
今後の動きにご期待ください！

♪ 実施を検討中の事業

- ・記念式典
- ・祝祭コンサート
- ・記念誌発行
- ・記念パレード
- ・メディア等との連携 など！



▲
WEBサイト



保土ケ谷区マスコット
ほどぴー



お問合せ

保土ケ谷区制100周年事業実行委員会事務局（保土ケ谷区地域振興課） 334-6308



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

©Expo 2027

公式マスコットキャラクター トゥーンタウンク

保土ケ谷区は2027年に区制100周年を迎えます

スマホより まわりをみよう あぶないよ

第12回ほどがや防犯川柳コンクール

最優秀賞作品 佐藤 仁さん



歩きながらのスマホ操作は、
事故やトラブルの原因になることも。
すれ違う人にあいさつをする、困っている人に気づく、
ちょっとした気配りが、地域の安全と絆を守ります。
一人ひとりが意識して、
安心・安全なまちをつくりましょう。



更生女だより

第28号

～会員交流研修～



【テーマ】 企業における社会貢献と更生保護

【講師】 株式会社ヨコレイ代表取締役 有井清氏

期日：令和7年7月28日（月） 会場：かるがも 3階（団体交流室）参加者：25名

会社の概要から、CSR（環境や人権などにも配慮し、社会に対する責任を果たす自発的な活動）の具体的な様子（地域清掃、見回り、小中学校の出前授業、コーヒー募金、ベルマーク運動）など、画像を交えてお話を伺いました。

社員の方々の元気で活力に溢れた姿が印象的で、社内貢献委員会が設置されていることにより、活動のボトムアップに繋がっているのだと感じられました。

締めくくりは『2組のサンタクロース』の例え話。
A 子ども達に愛を届けて笑顔になってもらう“理念のあるサンタクロース”

B ただプレゼントを配る“理念のないサンタクロース”

2組の比較で、“理念のあるサンタクロース”は、笑顔を想像することでモチベーションが高くなり、仕事だけではなく日々の行動に反映される、という興味深いお話でした。

グループトークでも、この例え話が話題に上がり「集約されていてわかりやすかった。理念を持って行動することは大切。」との声が出ました。

理念を持って、地道に一つ一つ継続されている有井氏やヨコレイの社員の方々と私たち更生保護女性会に通じるものがあり、「強く、しなやかに」の有井氏の言葉を心に留め、優しい社会を目指していきたいと思いました。



社会貢献活動

更生保護における社会貢献活動は、企業が行うCSR活動とは少し違い、主に保護観察中の人々が、地域社会に貢献する活動で、人から必要とされていることを感じ取り、再犯防止や立ち直りを目的としている活動です。

8月19日（火）横浜保護観察所にて、ボランティア団体や福祉施設に寄付するための使用済み切手を整理する活動に2名参加しました。



青少年の健やかな成長とやり直しを応援し、

「愛の鈴」～令和7年度で16年目～

区内中学校を卒業する皆さんに愛の鈴を届けました。
受け取った生徒さんからの感想です。たくさんの感想を送ってくださり、ありがとうございました。

「地域の子ども達のために協力しますよ!」と
言ってくださった中学校や自治会へ。
出張「愛の鈴」つくり会も活動継続中

温かく心のこもったプレゼントが、
私たちの抱えていた不安を和らげ、
将来に対する希望を持たせてくれました。

(西谷中 ゆづぽん)

かわいらしくきれいな鈴ですね。何
か手作りの温かみを感じます。見守
る大人の心をよく表しているのかな
と思いました。

(岩井原中 男子)

皆さんのような他の人に対する温
かい気持ちを忘れずに、これからの
人生を過ごしていきたいです!

(岩崎中 R.C)

一日一日を大切に
し、目標に向かって
頑張り、たくさん成
長できるようにした
いです。また、明る
く健やかに成長した
いと思います。

(上菅田中 女子)



すてきな鈴をありが
とうございました!!こ
れから先、どんなこ
とがあってもこの鈴を
通して地域の皆さん
に見守っていただけ
ていると思うと心強
いです!

(橘中 鮭)



愛の鈴をありがとうございました。
自分の1回しかない人生を後悔のな
いように楽しみたいと思います。

(宮田中 杉花粉)

福を呼び込んでくれそうな素敵な
柄の鈴をありがとうございました。
鈴の音を胸に、高校で頑張りたいと
思います。

(保土ヶ谷中 みなみ)

様々な人の力があって、私たちの安
全は守られていることを知りました。
鈴、ありがとうございました。

(境木中 パケモンマスター)

協賛会員の募集について

令和7年は、右の14団体が、協賛
会員として活動を支えてくださいま
した。引き続き、協賛してくださる団
体を募集していますので、ご協力を
お願いいたします。

(株)ヨコレイ

(株)モリヤマ
満天の湯

ヤベライフ
パートナー(株)

(株)花丸本舗

(株)板橋
葬儀の板橋

(株)笹山植木

(株)司工事

支えあう優しい社会を目指して活動しています

地域とのふれあい



@藤塚小学校
バルーンを配布しながら啓発活動。



@リプラ保土ヶ谷 @仏向ケアプラザ
愛のあられ・ライフビスケットの販売とバルーンアート体験。



新たな取り組み



@千丸台児童公園
色とりどりのビーズで作るワークショップ。



@今井地域ケアプラザ
成人向けのバルーン講習会。
受講生は、ケアプラザなどで活躍。



@びあわらべ
未就学児向けのバルーン遊び&シアターは、絵本を題材にしたオリジナルバルーンショー。誰もがキラキラの笑顔でした。



@ピッコリーノ

第75回“社会を明るくする運動”



社明上映会

期日 2月8日(土) 会場 今井の丘公園 新桜ヶ丘集会所
協力 新桜ヶ丘地区社協あんしん訪問委員会
参加人数 41名

第6回目の上映会「REAL VOICE」(児童虐待を経験した若者たちのドキュメンタリー)を共同企画で開催しました。様々な立場の方々と語り合いました。



ピア
NPO法人
わらべ

自治会
瀬戸ヶ谷町

学校法人
初音丘学園

わん
(株)とらべる

(株)フルクラム

昭和建設(株)

岳南建興(株)



／ありがとうございました／

啓発活動を行った各会場での募金、販売用の手作り品、「愛の鈴」材料の寄付等、たくさんの方々に活動を支えていただいています。

心よりお礼申し上げます。



～ ほっと一息お抹茶タイム ～

4月に行われた総会后、参加者の皆さまへお抹茶と和菓子を提供しました。ほろ苦いお抹茶の味わいと和菓子の甘さを感じながら皆さまの気持ちもほぐれたようで、和やかな雰囲気の中、参加者同士で会話を楽しむ様子が見られました。

お忙しい中、ご参加いただきまして、ありがとうございました。

～ 感謝祭探訪記 ～

横浜家庭学園感謝祭では、各教室を回り生徒から作品の説明を受けました。太鼓の演奏では、来場者も参加し、盛り上がりしました。

横浜市向陽学園感謝祭は、切り絵、書などの作品、手作り品や版画のカレンダー販売、三宅太鼓の演奏などで賑わっていました。

〈令和7年度役員〉

会 長	長尾 静子	理 事	田川 育代
副会長	深田 道子		大橋 明美
	鳥海 信子		高橋 梓
会 計	渡部 明美		作山 則子
	石川 京子		高野 美智
監 事	永島 公子		富田 瑞穂
	市村 隆		平野 千鶴子
顧 問	植村美佐枝		磯部 真由美
	青木八重子		

おめでとうございます

(敬称略)

横浜保護観察所長感謝状	深田 道子
神奈川県更生保護女性連盟会長表彰	渡部 明美
横浜市長感謝状	鳥海 信子
横浜市会議長感謝状	花塚 勝子

令和7年 年間行事・活動報告

1月	「更女だより」第27号発行
1月26日	新桜ヶ丘地区新春地域交流の集い
2月8日	上映会(新桜ヶ丘地区社会福祉協議会)
2月23日	リプラまつり
2月24日	横浜家庭学園感謝祭
2～3月	「愛の鈴」贈呈(区内中学校など11校)
3月2日	仏向フェスタ
4月25日	保土ヶ谷区更生保護女性会総会
5月15日	子育てサロン「カンガルー」
7月16日	社明街頭キャンペーン
7月28日	会員交流研修
9月7日	西谷まつり
9月9日	出張「愛の鈴」つくろう会(瀬戸ヶ谷町)
9月27日	仏向ケアプラザ健康子どもフェスタ
10月7日	県更女横浜Bブロック研修
10月17日	3・11東日本大震災を忘れない 「支援・福島・保土ヶ谷」
10月18日	横浜市向陽学園感謝祭
10月25日	ほどがや区民まつり
11月2日	千丸台文化祭&福祉バザー
11月3日	瀬戸ヶ谷町自治会防災訓練
11月9日	かるがものわいわいフェスティバル2025
11月25日	愛の寄贈(横浜家庭学園)
12月1日	出張「愛の鈴」つくろう会(新井中PTA)
12月2日	愛の寄贈(横浜市向陽学園)
12月20日	赤い羽根共同募金活動
6月・8月～12月	「愛の鈴」つくろう会開催
定例理事会	毎月第1水曜日

編集後記

保土ヶ谷区更女だより第28号をお届けします。

更生保護女性会は、犯罪や非行のない明るい社会の実現と、青少年の健全育成をめざすボランティア団体です。地域社会に貢献する当会の活動に参加してみませんか?男女問わず、入会をお待ちしています。

更生
保護

オムィン

令和7年12月1日発行
保土ヶ谷
保護司会報
第63号

社会を明るくする運動を実施して

令和7年7月16日(水)、保土ヶ谷区役所前広場をメイン会場とした社明運動が実施されました。

参加者は宮田中学校の先生2名、区役所の職員3名、警察署の職員1名、社会福祉協議会の職員3名、更生保護女性会会員5名、保護司17名、計31名の参加者が集まりました。

区役所から星川駅に続くかるがも小径、駅前、区役所前道路で、パンフレットやウェットティッシュ等のグッズを配り「社会を明るくする運動」を呼びかけました。神部保土ヶ谷区長や宮田中学校佐藤校



長自ら「社会を明るくする運動です!」と呼びかけ、グッズを渡しました。また、道行く人達も興味深く受け取って下さいました。啓発用品はすぐになくなり、盛況のうちに社明運動は終了しました。いつもこの運動に参加して下さる地域の方々のご協力に感謝しております。

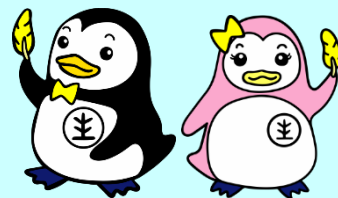


保土ヶ谷保護司会の特色について

横浜保護観察所保土ヶ谷担当主任官 田中明日香

令和6年4月に保土ヶ谷区の主任官となりましたが、今も思い出すのは、着任早々にお招きいただいた歓迎会の光景です。本当に保護司の皆様が和気藹々と楽しくお話しておられ、良いご縁をいただいたとしみじみ感じたものです。

さて、保土ヶ谷保護司会の特色ですが、まず、30代から70代まで幅広い年代の方が保護司として活動されている点です。中でも若い世代の方が多く、仕事と保護司活動の両立を生き生きとされています。次に特例再任保護司として活躍される方が多い点です。前述の会の雰囲気の良いこともあり、長く活動いただいている方が多いのだと思います。最後に、福祉保健活動拠点「かるがも」での面接が活発な点です。安全・安心な保護司活動の実現は急務ですが、保土ヶ谷区では社協の協力もいただき、多くの方が「かるがも」を活用して面接をされています。安心して長く楽しく保護司活動ができることは、保土ヶ谷保護司会の強みだと私は思います。



令和 7 年度 第 2 期地域別定例研修



令和 7 年 9 月 2 日(金)、多目的室にて「報告書の書き方」及び「拘禁刑の創設」について田中主任官から講義を受けました。

ビデオを視聴後、実習用に用意された報告書を基にグループごとに分かれ、伝えるべき点や書き足りないことはないかなどについて意見交換をしました。資料の裏には参考となる内容が書かれており、細かい点など勉強になりました。



受講の様子

「拘禁刑の創設」という新しい刑罰が 6 月 1 日から施行され、これまでの懲役刑と禁固刑が一本化されました。

懲役刑では刑務作業が義務とされていましたが、拘禁刑では刑務作業だけでなく、改善指導や教科指導といった「矯正処遇」の内容も、一人ひとりの特性や事情に合わせて柔軟に決定されるようになりました。

このように定例研修に参加すると、新しい情報を得ることができ、保護司としての研鑽を積む機会になります。是非、都合を合わせて参加するようにしてください。



保土ヶ谷保護司会 施設見学研修会の報告

令和 7 年 11 月 12 日(水)、法務省見学を中心とした施設研修会を実施しました。はじめに法務資料展示室を見学し、日本の司法制度の歴史を垣間見ることができ、強く印象に残りました。続いて保護局長吉川崇氏への表敬訪問では、今後の保護司法改正により、対象者との面接を自宅以外の公共施設等でも実施できるようになる見込みなど、制度の新たな方向性について伺いました。CAPIC（刑務所作業製品）販売所では、革製品や木工品などを取り扱っていて、各々興味のあるものを購入しました。

その後、靖国神社と遊就館の見学を通し、平和の尊さを改めて感じました。幅広い世代の保護司と交流ができ、大変実りのある研修会となりました。



保護局長表敬訪問



法務省外観

「支援・福島・保土ヶ谷」に参加して

令和 7 年 10 月 17 日(金)、瀬戸ヶ谷町自治会主催による「支援・福島・保土ヶ谷」がリプラ保土ヶ谷にて開催されました。会場では、恒例の果物、瀬戸ヶ谷町自治会名物の焼き芋の販売が行われ、お目当ての商品を求めて多くの方が来場しました。

保土ヶ谷保護司会も参加し、薬物乱用防止の啓発セットを配布しました。来場者は関心を持って受け取ってくださり、配布を通して短いながらも交流の機会が生まれました。風は強かったものの天候に恵まれ、予定していた 200 部を無事に配布することができました。

ご協力いただいた会員の皆様、本当にお疲れ様でした。



ほどがや区民まつりでの啓発

令和 7 年 10 月 25 日(土)、前日の雨で運動広場はぬかるんで所々足元が悪かったにも関わらず、三万人の区民が来場し賑わいました。今回は過去最多の 130 を超える団体企業が出展しました。

当保護司会は「社会を明るくする運動」と「ダメ・ゼッタイ」の幟を掲げ、犯罪予防と薬物乱用防止について区民にアピールしました。また、例年恒例になっている「薬物乱用防止の的当てクイズ」のコーナーには、小学生グループや親子連れなどが長い列を作り、ボールを投げて的に命中すると、歓声を上げていました。参加したこどもたちに参加賞、付き添いの保護者には薬物乱用防止啓発の資料を渡し、読んでほしいことを伝える保護司もいました。

今回区民まつりで初めて「相談コーナー」を設けたところ相談者が来訪し相談に応じました。今後このコーナーに、より多くの相談者が来られることを期待しております。



瀬戸ヶ谷町自治会防災訓練での啓発活動

令和 7 年 11 月 3 日(祝)、瀬戸ヶ谷町第二公園を会場とし「顔の見える関係づくり」を目的とした訓練に、保土ヶ谷保護司会薬物乱用防止部員、神奈川県薬物乱用防止指導員、神奈川県麻薬等薬物相談員が参加しました。薬物乱用防止への注意喚起を促すことを目的とし、神奈川県薬務課発行「薬物乱用は



ダメ！ゼッタイ」、保土ヶ谷保護司会作成「きみの未来は、きみが決める。薬物なしの自分でいこう。」のチラシと資材を来場者に配布しました。

現在、大麻使用またはオーバードーズ（市販薬などの過剰摂取）が低年齢化している状況です。

薬物乱用防止を啓発活動のひとつに掲げ、関われる社会の問題の解決への一部を担っていきたいと考えております。

横浜清風高等学校の演奏風景

～受賞おめでとうございます～

関東地方保護司連盟会長表彰

森 泰昭

神奈川県知事感謝状

今村 悦子

小柴 邦幸

横浜保護観察所長表彰

大橋 明美

佐藤 ひとみ

神奈川県保護司会連合会長表彰

青柳 成彦

野口 暢博

横浜市長感謝状

林 俊二

横浜市会議長感謝状

小林 溶子

横浜市保護司会協議会会長表彰

高橋 栄一郎

大貫 文夫

山森 三千代

大橋 明美

中島 輝正

神奈川県社会福祉協議会会長表彰

蘭 隆雄

<薬物乱用防止活動への表彰>

神奈川県薬物乱用防止指導員協議会会長表彰

宮津 徳幸

厚生労働省医薬局長表彰

佐々木 安恵



編集委員お気に入り本の紹介

「安楽死で死なせてください」
橋田壽賀子

(G.A)

「レ・ミゼラブル」
ヴィクトル・ユゴー
(E. M)

「アラシ」
今野保 (H.S)

「松下幸之助
成功の金言 365」
松下幸之助

(T.S)

「演をたらしめた神」
吉野せい (Y.K)

「超訳ニーチェの言葉」
白取春彦 (Y.S)



— 退任 —

山森 三千代 様

(令和 7 年 10 月 31 日付)

長きに渡りご尽力を賜り
ありがとうございました。

令和 8 年も引き続き
よろしくお願いします
いたします

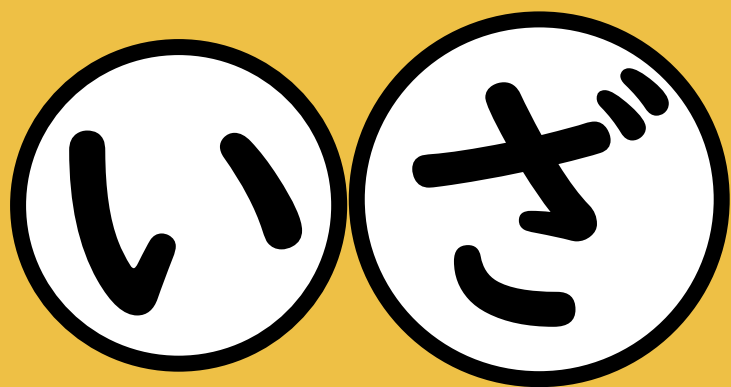


<編集後記>

保護司法が施行されてから 75 年。

諸先輩方のたゆまない努力が実を結び、現在、世界で
この制度が注目されています。

保土ヶ谷保護司会も、区政 100 周年とさらにその
未来に向けて、引き続き明るい社会作り、また再犯を
地域で防止する活動を続けていきたいと思ひます。



というときの備え
～災害対策のプロから話を聞こう～

令和8年2月7日(土) 9:30～11:30
(受付9:15～)

横浜市保土ヶ谷公会堂 1号会議室

近年増加している地震・風水害等の災害への備え
について専門家にお話しいただきます！！

※当日、講師都合により内容・講師が変更となる場合がございます。予めご了承ください。



共助の強要

～避難所の「クレクレ」問題～

(株)防災小町 代表 田上 敬 氏(元 自衛官)

日常と非日常

～高齢社会に寄り添う姿勢～

川島原地区連合会／くぬぎ台団地自治会

会長 鈴木 方規 氏



申込はこちら
又は
お問い合わせへ



保土ヶ谷区災害ボランティア
ネットワーク キャラクター
「わんにゃんP」



主催
保土ヶ谷区災害ボランティア
ネットワーク

事務局 (お問い合わせ)
保土ヶ谷区社会福祉協議会・保土ヶ谷区役所
☎341-9876